新真婦人

第五号（九月号）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤
電話（本）八八八（病院用）八九八（自宅用）

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長　醫學士高田畊安

相州高座郡茅ヶ崎町海濱從停車場半里
電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

■蘆花 徳富健次郎著

（廿五版）

紙數約八百頁

定價壹圓五十錢

郵税十六錢

みゝずのたはこと

過る六年間土の洗禮を受けて武蔵野の孤村に鍬をとれる著者が折に觸れ興に乘じて筆を走らせし即興のスケッチ、短篇小説、瞑想、書翰、紀行等を集む。

清新なる田園の小景……

詩化せられたる教訓……

涙を含む笑に滿てる物語……

有象より無象に通ふ神秘の暗示……

平淡の中戰慄すべき恐ろしき説話……

卷中に充滿す

出版以來既に數萬部を賣悉し廿五版發賣す。

■發行所

東京市銀座大通新橋際（振替東京二〇〇〇番）新橋堂書店

東京市日本橋區呉服町八（同 二〇七七六番）服部書店

新眞婦人第五號

口繪　覗よ我戸の外に立て叩く（ホルマン・ハント筆）
宣言
新聞紙の婦人に對する態度
虫賣り　一記者
日盛りの花　小口みち子
女の五才能　鳥林あぐり譯
他山の石
新しい女の新計畫（なでしこ）▲婦人と社會改善（田中久子氏）▲婦人と田園趣味（ゲ・モレン孃）▲船中で花の販賣（矢作榮藏氏）▲貞操（瀨井秀一氏）
寄生論　高野重三
婦人の精神病　石川醫學博士
カシタンカ（飼犬の名）　瀨沼夏葉譯
かたらいの少女　川浪胡風
兒童の本能　一記者
日本女性史（五）　新眞婦人社編
私の家庭からドウして病魔を退治しましたか　齋藤秀三郎氏夫人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（九月一日發行）目次

八ツ岳山麓農場日記（二）　吉川たみ子
與謝野晶子女史の談片
募集文藝（和歌——俳句）
理容館の施術室　一記者
東西南北（輕井澤より△白耳義より△渡邊文子樣より△元町より）
新刊紹介（今の女△小野小町論△輕井澤△鐵道沿線遊覽地案內）

附錄

夫の不品行と妻の不品行　高島米峯
貴問に答ふ　山路愛山
負けたなあ　上司小劍
『夫婦間の談話』と『夫の不品行を苦にせる御婦人方へ』と　小口みち子
『夫の不品行を苦にせる御婦人方へ』　內ケ崎作三郎
家庭の不和　西川文子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

視よ我戸の外に立て叩く、—ヨハネ默示録

（ホルマン、ハント筆）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

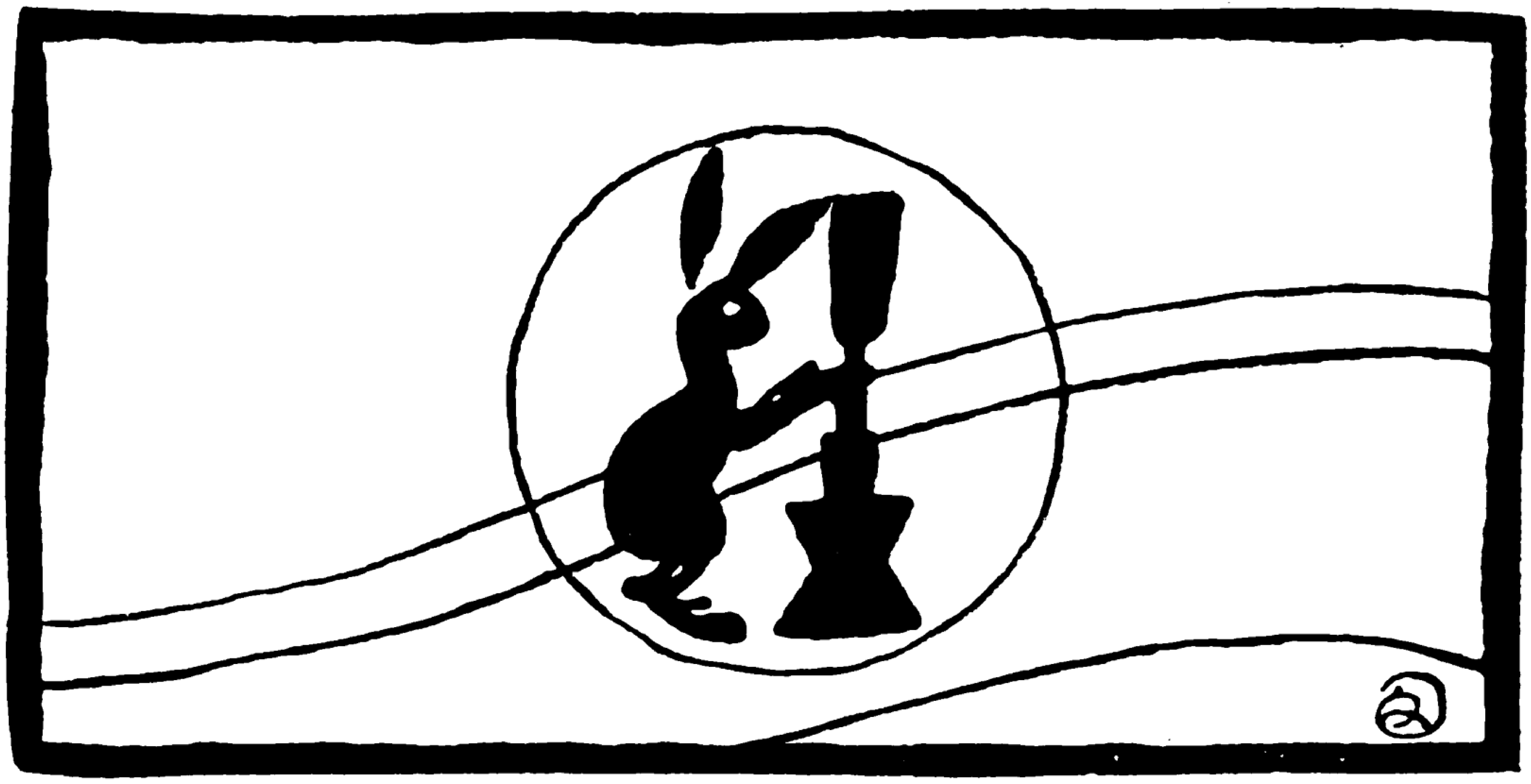
口繪の解

われら睡りたれどもわが心は醒めゐたり、時にわが愛する者の聲あり卽ち門をたゝきていふ、わが妹わが佳耦、わが鴿わが完きものよ、われのために開け、わが首には露滿ち、わが髮の毛には夜の點滴みてりと

（雅歌）

表紙畫の解

僧牧溪或時牝雞の狗子を飼ふを看る始は蟪蛄の如き者抔與ふるに狗子啼いて一向食せざりければ牝雞は痛く思煩ふ樣にてありしが遂に狗子の喜こぶものを求め來り之を養ひけるとなり（字餘）。



新眞婦人　第五號

宣言

△私たち銘々の心の奥底には、尊い眞な活きた者があります、この無限の潜在力を何處までも發揮しやうと努力しますのが、新らしい眞の婦人の生活であります。

△私たちは斯ういふ精神で努力すると共に、また他の御婦人がたへも御勸め申したいので、此の雜誌を發行することに致しました。

△詳しく申しますると、新藝術、新道德、新信念を發見し、開拓しまして、茲に新らしい人生を創建するのであります。

△それでありますから將來の新藝術は、信念上の努力の表現でなければならぬ事を宣明します。

△要するに、私たちは無限の潜在力を啓發しまして、有史以來、未だ曾て認めなかつた新らしい女性の人格をも、成就しやうと努力するものであります。

△其の立場から見て、結婚問題、離婚問題、家庭問題、其他婦人に關する一切の問題を、研究し、論議し、更に歐米に於ける婦人問題に關する論議に就ても充分に研究して、之れを何の位の程度まで、我國の婦人に適用すべきものであるかと云ふことも知りたい、之れも本誌の目的の一であります。

△又社中同人及び社友諸姉の創作もオイ〳〵發表し、紙數の如きも、本社事業の發展に伴ひ、次第に増加する考へであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新聞紙の婦人に對する態度

一

新聞紙は社會の鏡だから、善惡共に寫さゝるを得ぬとの論に、私も贊成する。又報道の迅速を要する新聞紙のことであるから、記事に誤謬のあるは止むを得ないとの辯解にも、同意する。けれども私は、記事の性質、殊に婦人に關する新聞紙の記事の性質に就て、一言せずして止むことが出來ませぬ。

例へば能く新聞紙は、

△何所其所の娘は、何某氏と關係があるらしいと書くとか。

△或は、種々の事情ありて獨身生活を續けて居る婦人の惡評を立てるとか。

△或は又、甚だしきは、人の妻君に對して姦通云々の記事を書くとか、

しますが、其の爲めに婚期を失した婦人が幾人あるか知れぬ。其の爲めに泣いてる婦人が幾人あるか知れぬ。又其の爲めに風波を起した家庭が幾許あるか知れませぬ。

ソレも事實を書かれてソウなのであれば、身から出た錆とも云へましようが、能くも調査しないで、有りもしないことを、而かも婦人の生命とも云ふべき點に就て書かれては、全くタマらぬではありませんか。一體人の私行に關しては云はぬと云ふのが、文明人の德義でしよう。新聞紙が此の文明的態度をとらぬのは遺憾至極であるが、更に人の私行に就て有りもせぬことまで言ふに至りては、誠に沙汰の限

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りであると、思ひます。

英人なぞは、同船者の中に、淫賣婦であることが明白な女が居ても、外面では決して其の女を輕蔑した樣な風を見せず、又陰言も云はぬとのことである日本人は之れに反し、コンナ場合には盛んに陰言を云ひ、又表面輕蔑の風もして見せるのみならず、普通の婦人をもアレは淫賣婦ぢやないかなどと、而かも其の女に聞える樣に云ふ位である。コウ云ふ日本人の氣風が、知らず識らず、新聞紙に現はれて、右に述べた樣な記事となつたものと思ひます。されば根本的に云ふと、新聞紙の記事の性質問題ではない、國民の性質問題となつて來るのであります。であるから、諸種の點から國民の婦人に對する考を新にして行かねばなりませぬが、新聞紙の態度の先づ改まることは、何によりも大切なことであると思ひます。

二

世には新聞なんかと、一言に新聞紙を罵倒し去り又新聞屋かと、一言に新聞記者を下等動物扱ひにして了ふ方が多くありますが、イクラ新聞紙を輕蔑しても、イクラ新聞記者を罵倒しても、新聞紙の勢力は日々增大するばかりであるから、輕蔑や罵倒は無益でしよう。ソレよりは新聞紙の改良を唱へるのは今日の急務であらうと信じます。

新聞紙改良の中心は、記者の人格と識見問題です人格あり識見もある人が、多く新聞記者になればなる程、新聞紙は不言裡に改良されて行きます。而して新聞紙の改良を促す爲めに私共の爲さねばならぬことは、立ちの惡い新聞、殊に婦人に對して失敬な記事を掲げた新聞は直ちに購讀を中止することであらうかと存じます。

三

私、近頃ベグビー氏の著書を讀んで見ました所が中に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△人間はまだ何んと云ふても、野蠻性に富んで居る。であるから新聞紙に、自殺、殺人、離縁、騒動、姦通、詐欺と云ふ樣な記事がないと、讀者に受けない。新聞社は何時も惡い記事で金儲をして居る、爲めになる樣な記事では損をするばかしである。新聞社がヤケな、ヒステリー的な、乃至は絶望的な記事を蒐集するに骨を折るのは、此の樣な道理あるからである。

△けれども讀者側から云ふと、此の樣な新聞ばかり讀で居ると變な人間になつて了ふから、讀まぬ方がよいと云はざるを得ぬ。何人も自己の室内を飾るに、重大なる注意を拂ひ、淸く美しいものを以てせんと努むるではないか。然るに何故に、其の精神の糧たるものを求むる場合に、殺人、姦淫詐欺、强盗、コンナ記事に滿ちたものを求めるのであるか。之れは室内を、娼婦や强盗や乃至は惡魔や化物の繪を以て飾つて居るのと同樣ではないか。

△新聞紙に現はるゝ樣な絶望的な記事から脱して吾々は出來る丈け餘計に、善が世界を支配しつゝあること、善人の感化が廣く及びつゝあること等に就て知らねばならぬ。

と書いてあつた。私共は諸種の必要から新聞紙を讀まぬと云ふワケに行きますまいが、ベグビーの言も道理ある言ですから、成る丈け品の善い新聞を選びて讀まねばならぬと考へます。

要するに私の此の論は、世の御婦人方に、成る丈け、品の善い新聞を撰びて讀むことゝ。婦人に對して失敬な記事を掲げた新聞を讀まぬと云ふことにしたいのと、此の二の事をおスヽメしたい爲めであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日盛りの花

小口みち子

蓮の花がをり枕にうたゝねの
　寢ざめの今に問ふ事あらば
われはいますこしく物に醉心地
　惡魔がきたるそゝられて見る
夾竹桃雨にうたるゝ動亂の
　支那のをんなの起臥をおもふ
紅はよそのをとめの花びらの
　唇にそひてぞよき色ならむ
夕立が五日目毎に來る夏の
　日盛りの花日まはりのはな
耻かしき事わきまへぬ女らの
　群の外なる三十路もあらば

石だゝみ中をくぎりて尺程の
　土に銀座は四季の花さく
朝顔の蔓諸共になよ〳〵と
　秋に向ふか囚屋に行くか
逢ふごとに人の姿を見てぞなく
　氣ちがひとならむ此日のあした
我等みな涙ながして賜ひける
　空なる盞をほしてぞ居たり
人ごみの中をうめきて舌をはく
　迷兒の犬によく似しさまや
粟一粒雀の糧か逆臣の
　腸までも育くむ糧か

以下谷中墓畔に於て

父母を又祖父祖母をぬかづかせ
　うすらえみして高きに居る子
をとめにてなほ嬰兒にてありける子
　春風のおとや戀しかりけむ
汝が母があるにあられず思ふ時
　汝もしかあらむさまよひて來よ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女の五才能

フィシアー、アウ井ン。
鳥林あぐり譯

女の使命といふものが特別にあるとすれば、それを果すにふさはしい才能といふものをもキット持つて生れてゐるに違ひないと思ふ。特種な女は特種な天才をもつてゐるであらう、然し一般の女は自然の適合、或は五つの義務に對しての才能を持つてゐる、それはラスキンの所謂、女のはたらきを包括したものである。五つの才能とはそのはたらきを可能ならしむる力をいふので即左に記するところのものである。

一、人を樂しくさせる事
二、人を優しく養ふ事
三、人に着物をきせる事
四、人を秩序的にする事
五、人を敎育する事

我々は或る感情の強い若い婦人が高い藝術に耽溺して而もその哲學を臺所に應用する事を、むだといふ話を聞いたではないか、そして彼女は、そんな家庭のしごとなどといふつまらない事はむかし流行した義務である、私達の天才はもつとよい事につかはなければならないと云つてゐると聞いたではないか我々はそれに對して前に云つた女のはたらきより、より高いはたらきが世の中にないといふ事を答へるものである。女のはたらきの多くが家庭の内にかくれてゐるからといつて輕視する事もなし又男が社會の表面にたつてやる仕事より重要なものでないとみなすべき理由はないのである。實際さういふはたら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

きは女の手を待たないで男には決して仕遂げられないのである、シエクスピア、ベーコン、ゲーテ、ウエリントンに母がなかつたら如何なつたらう？　假にそれほど必要なものなしに生れて來たと云ふ事を信じられるとしても、嬰兒の時の母の教養なくしてあれ丈のものになりあれ丈の事をしたといふ事を信ずる事は出來ない。シエクスピアの母は、ハムレットはかけなかつた、けれども彼女が――恐らくば彼女ひとりが――よくシエクスピアをつくる事が出來、又つくりあげたのである。ゲーテの母に對しても同じくさういふ事が出來る、人の子の運命はその父によつてより、はるかに多くその母によつて定まるものである。

一將軍が戰爭に勝つた、けれども彼が養はれ、着せられ、敎へられてゐなかつたならば彼はその成功は得られなかつたのである、これらの事は皆重に女の手によつてなされるのである。一大政治家が一つの重要な議案を持つて議會に臨まうとするや、その妻の笑顔にはげまされて我家を出るのである、又彼女のあたへるよい、食物によつて彼は堅固にされるのである、彼の肌着は女の手によつて洗はれたのである、彼の心の沈着は最初の教育によつて母からうけたものである、國家は一つの新法律に就いても果して女より餘計男に感謝すべきであらうか、最近に亞米利加で開かれた女權論者の會に一女丈夫のした演說は恰も警鐘の樣に響き渡つた、それは下の如くであつた――

會長孃よ同性諸君よ一般の男權制御者よ、私が今日此所に立つた目的は女權に就いて論ずる爲、女が不正におしつけられてゐるのをおしかへして男をおす爲であります、抑男女の兩性は全く平等に造られたものである事を私は信ずるのであります、而して男といふものが全く存在しなかつたら世の中は今日よりももつと幸福なものとなつてゐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たらうと思ふのであります。
成功といふ事から云へば男は一つ出來損ひである私は自分の母が女であつた事は實に私の運がよいのだと祝つてゐる(拍手起る)私はたゞに是等の主義を主張するばかりでなく、更に男が人の夫として失敗である事を辯證するのである、男は神の手によつて最初に造られたものであると彼等は自ら云つてゐる、宜しいさうであつたでせう、最初の試はいつも失敗ではありませんか、彼に屬したものでたゞひとつのよいものは肋骨の一本であつた而してそれはとられて失つてしまつた、男よりもつと優つたものを造る爲に(拍手起る)而して男はイヴが林檎をとつたに就いて私達に向つて來る、私は拾圓のかけをしてもいゝ、イヴを木の上に押しあげたのはアダムで而してとつた果實はしん丈イヴにやつたに違ひない、それで見つかつた時彼は如何したか、眞の男の本能を發揮してイヴの後にうづくまりながら、私ではないのです、彼女がとつたのです、と云つた、それから女がすべてのものを創造し又すべてのものを養育する様になつたのである、私達の得たいと望むものは投票權である、たとへ黒髪を振亂して血の海を泳がなければならぬとしても、どうしてもこれを得なければ置かないのである。(聽衆感動)
私は女が投票權を持つたならばその權威と勢力とを失ふだらうと思ふ、然しながら私は個人的にはすこしも反對ではない、たゞ男がそれ程の價値も認めず往々用ひもしないで置く様なものを得る爲に何で血の海までも泳がなければならないのか。聊了解に苦しむのである、私のみる所では女も男と同様に自由自在にどんな職業にでもつけるしあらゆる學校に入る事が出來ると思ふ。けれどさうしないのは何故であらう? それは或る種の仕事に全く不適當な人は自分からそれに入らない、又入つても直に有力な

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

決定者即競爭の爲に間もなく追ひ出されてしまふのである。而して我々はこゝに論ずる所の五つの才能を自らたえず培つてゆくものを最善良な婦人と信ずるのである。

それで我々は皆ラスキンの意見通り全く異る性の『優秀』を論ずるのに似よりのものをくらべかの樣にするのは愚な事だと思ふのである。互に一方の持つて居ないものを持つて居る、互に一方を補ひ、一方から補はれてゆく、兩性には全然似た所はない、一方丈から與へる事の出來るものを求め合ふて、受けあふてもちつもたれつする所に完全と幸福は宿るのである、男の力は能動的、進歩的、防禦的である。彼は秀れた實行者である、創造者である、發見者である、防禦者である。女の力は發明や創作をする爲にはならぬ、たゞ甘く樂しい秩序をつけてゆく事と調和を保つ事にある、女の偉大なる職分は讃むべき哉、女は競爭場裡に出ない、けれどもその競爭の冠は誤謬なく審判するのである。

男が自分の家庭に對してなすべきつとめは、一家を支へ、進歩を計り、防禦する事にある。

女のつとめは秩序をつくり、慰安を與へ、愛に滿つる事である、けれど男も女も自分の家庭のなかでつとめる樣によく社會に對してつとむべき義務がある、決して利己主義に囚はれてはならぬのである。

ラスキン曰く、男の義務は國家より先その一家を維持しなければならぬ、女のつとめは秩序を造り、慰安を與へ、而して國の美はしい裝飾となる事にある。

女はその門戸の內では秩序の中心であり悲痛苦難を和ぐる香油であり又審美の鏡である、それならばまして內よりは秩序も亂れがち苦痛も切に愛も薄い門の外では尙更さうあるべきである。近頃盛んな西部ロンドン教會で一人の若い牧師が說教をした、彼は神の道には熱心であつたが世態人情には通じてゐ

なかつた、彼は婦人の方にむかつて「我が姉妹よ、あなた方でも——單に女であつても何かしら爲すべき事を見出せない譯はあるまいと思ひます」とこんな言をつかつた。「その牧師のお母樣はたしかにやりそこなつた」とその奇怪な論を聞いてゐた一婦人は私に話した、單に女でもとはまるで地球上に女よりより高い生物があるかの樣に聞えるではないか、何かしらすべき事がとは此世に於ける女のはたらきが男のほど重要なものでない樣に聞えるではないか、家庭といふ國家では女は女王である、家庭は彼女からあひづやさしづをうけるのである。

若し彼女が女らしい感情とまごころと優しさと愛らしさと勇ましさと忍耐と自重心とを持つてゐるならば意識的にあるひは無意識的に國民の運命を左右する所の勢力をふるひ且つはたらかせてゐるのである、女はエデンの園のうちにさへなくてはならなかつた、まして刺多い外の世界にはどれ程必要だかわからない、女は物質的には弱く出來てゐる、然しその弱いところに女の強さがあるのである、男に於ては智識がその權力である、女の權威は優しさにあるのである。

　そこには天も地もない
人間に與へられたる仕事はない
祝福もない呪ひもない
然り否の囁きもない
生もない死もない産れるといふ事もない
鳥の毛ほどの價もない
もしも女がその中にないならば

啞蟬　私の裏に、女の琵琶の先生が居て、毎晩大きな聲で始める、私は蚊帳の中で毎夜ソレを聞くのを樂しみにして居るが、昨夜琵琶を聞きながらフト、多くの女は啞蟬だ。彼女は獨り能く鳴くと思つた。啞が幸福か、鳴くのが不幸福か。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

他山の石

▲新しい女の新計畫（婦人評論）此春のことであつたが、倫敦の新しい女の間には、天氣だとか芝居だとか、又は舞踏といつたやうな日常の事柄に關する喋舌りを一切嚴禁して、最も悧巧な警句を以て、その日の出來事に關してのみ、男子と言葉を交へろといふ會合が出來、その結果として古い格言や諺などが、新しい解釋によりてその會話に交へられることが流行し、最も巧な話をしたものには、其日の褒美が與へられることになつてゐるといふやうなことが傳へられたが、最近に至りて、英國の婦人社會には、更に／＼新しい計畫が企てられ、それが着々と實行されて居るさうである、此新しい計畫は妻君に對する日曜の會といつて、家庭や小供の世話の爲に疲勞した妻君連が、一週間の末毎に寄り集まりて、互に平和な幸福な自由な空氣を吸ひ、之によりて若い娘時代の床しい懷かしい幻影を復活し合はうといふのである（なでしこ）△私共も之れに眞似て、妻君連ばかりで話合ふ會を起したいものと思ふて居ます。

▲婦人と社會改善（六合雜誌）殊に英國の如きは、アルコールに對する戰、公衆衛生のこと、兒童保護のこと、貧民救助のこと、凡てに女子の力が働いて居ります。英國で死亡率が少なく、一般衛生が進歩し、犯罪者の數が減少して行くのは、皆婦人の力に依つてゞあると云はれて居ります……佛國のピエール・ド・クルヴエーンと云ふ文學者が英國に遊んだ後に云へる言葉に『英國の婦人に依つて、初めて、眞の人道主義の精神が見えた、彼等は貧と惡とに戰ふことを天職と心得て居る』と、こんな事を云つて居りますが、實に面白いことであると思ひます。米國の女もまた同様であります、丁度桑港の大地震のあつた時の事でした、私は當時對岸のオークランドに居りました、地震のあつたのが朝の五時頃まだ起き出でぬ中の事でした。其時直ちに立つて、其の救濟策を講じたものは、オークランドの交際社會の婦人達でありました。一二時間の後には、第一教會に集まつて善後策を相談し部署を定め、桑港の各停車場に出張して、先づ第一にサンドウヰッチと水とを、罹災人に供給致しました。一部の人は直ちにミシンを借り込んで衣服を與へる事に奔走致しましたが、それは實に目覺ましい活動振りでありました（田中久子氏）△コウ云ふ思想を我國の婦人にも吹き込みたいと云ふのが、私共の希望であります。（記者）

▲婦人と田園趣味（斯民家庭）英國の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

當該官廳に於て、婦人の農業教育を奬勵するは、一には妙齡の婦人をして生活の途を得せしめんとするに在るは勿論なるもその主眼とする所は、婦人をして田園生活の興味を知らしめんとするに在り。方今英國に於ても、佛國に於けるが如く動もすれば農民相競うて都會に移住せんとする弊あり。然れども婦人にして、一たび清淨なる天然物の中に在つて生活するの快樂を味ふや、其の良人を伴ひ、都會に赴かんとするが如きことなきは固より、婦人にして一たび農業に趣味を有することゝならば、却つて都會に去らんとする、不幸の良民を其地に止めんとはするなり。又婦人にして農業上の智識を涵養したる以上は、他日良人が殖民地に移住するが如きことあるの時に際しても、良人の爲め、無上の助力者となるべし。而して婦人に農業の趣味を感得せしむるには、教育の力を借ざるべからざるより、英國に在つては、兒童花園は勿論、高等園藝學校に至るまで、何れも完全なる婦人農學科を置かざるなく、小學校及び中學校に於ても、亦この種の斬新なる教科を採用し居れり(ヂー、モレン孃)△我國に於ても、田園趣味を說く人が增へて參りました、之れは諸種の意味よりして悅こぶべきことであります。(記者)

▲**船中で花の販賣**(家庭之園藝) 獨乙の船が南米に往復して居りますが、船で長く航海すると云ふことは、中々倦きるもので見渡す限りは青海原で、會々島でも見つかつて青い草木を見る時は心持の良いものであります、長い航海中には何うしても自然の草木や花に接したくなるもので、この南米と獨逸を往復して居る船は此邊を看破したかどうかしれませんが、自然物で慰められると云ふ事の少い此の船の中に花を販賣して居るので船客は樂の爲めに花を購ひ室を飾る者も尠くありません、そして船には中等以上の客が多いので其賣行も中々宜しい樣であります(矢作榮藏氏)△自然の草木は斯くまで人間の生活に必要なのであります、されば之れを見るの自由ある時氣を付けて見て、其の恩惠を感謝せなくてはなりませぬ(記者)。

▲**貞操**(新佛教) 元より現在の婦人問題の中には貞操の問題も含んで居るが其根本の精神は如何にして價値ある人生を送らんかと云ふ問題である。如何にして從來の因襲と束縛から脫れて、自由と獨立を得やうかと云ふ問題である。如何にして男子と同じ地位に立つて體力や勢力は別としても、精神的及び人格的に同じ權利を得やうかと云ふ問題である。是等の問題が解決されゝば女子は自ら眞の貞操を守る事も出來るのであるが、根本問題を解決せずして徒らに貞操のみを重んじやうとするのは、前後撞着であり且つ無意味ではあるまいか。何となれば現在の我國に於ける女子の如く精神的自覺もなく、人格的修養もない者が、如何に貞操を重んじて男子を制御し得たとした所で、自ら進步向上せず社會的にも制度の上からも抑壓されて居る以上、彼等は依然として弱者であり劣者であり無能力者たる點に於て變りはないからである(薄井秀一氏)△尤もな議論と思ひます。(記者)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

研究

寄生論

(オリブ・シユライネル女史の『婦人と勞働』紹介の一)

第一章

高野重三

オリブ・シユライネル女史著『婦人と勞働』の本文は、六章より成り、其の中最初の三章は寄生論である。私は今日第一章丈けをお話するのであるから、尚ほ二回に亘りて寄生論の話をせねばならぬワケとなるのです。

女史は、婦人が之までドウ云ふ境遇を經て來たかと云ふことより、筆を起して居る。曰く

最初、獸物から人間になりかゝつた時代に於ては、男女共に丸裸體で、其の男子の日々爲す事は獵と戰爭のみであつた。此の時代に於ては女は常に男の行く所ろに從つて行つた。又或は男の獵せる間に女は木の根を掘り木の實を集め食物となし或は男の獵して來た獲物を料理した斯の如く野蠻なる男女は自由に共に流浪し自由に共に働いた而して此の時、女に何んの不平もなかつたのである。

其後世の中が變て來て、人間が流浪する事を息めて或る一個所へ居を定むること なつた。此の時代に於ては男が獵や戰爭の爲めに出て行つた跡で、女は田を耕作した穀物を刈集め家を建て衣類を織り土器を製し其上に繪を畫き木の根を蒐集して藥も拵へれば、僧さんの役も勤め、又將來のことを預言する卜者の勸めをもした。此の時代の女は、其胸にて人類を養ひ其背に人類を背負ひ實に朝から晩まで働き通して、獵や戰爭から歸つて來た男の爲めに飮食物を整へ一日として休むと云ふことはなかつたが、決して不平を云はなんだ。若し其働きが甚いと

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

云ふ女があれば、男が戰ひを避けしと同じく此の時女の裏切りものと云はれたに相違ない男が獵や戰爭に出て怪我をして歸て來ても、苦痛は獨り之れを忍びて默つて居た如く女も少しも不平を云はず滿足して居つた。

三度び世の中が變つた。獵をなし戰爭をする外に、男は奴隷を使ふて女の如く田を耕し家を建て穀物を搗き草を採り土器を製し屋根を葺き子供等の爲めに碾臼を廻はして食物を整へて女の働を爲す事になつた、ソコで女の仕事は主としては家内に於ての仕事のみに限らるゝ樣になつた、けれども之れに就て少しの不平もなかつた。女は料理もすれば酒も藥も拵へ又糸も紡ぎ衣服も拵へなどして、終日せつせと働いたものである、酋長百姓町人等の家内として滿足して働いたものである。

更に又、世の中が變つた、而してソレが男にドンナに影響し、女にドンナに影響したか。女史は先づ男への影響を說いて曰く

例へば田を耕すに、之れまでは四五十人かゝりしものも、今では機械を用ゐて一人で出來ることとなつた。戰爭にしても、昔は腕力を主としたものであつたから腕力が尊ばれたが、今ではマキシムの速射砲が一つあれば、小人島の人間でも、一人で數千の大人に當り得ることとなつた。肺病でヨボ〳〵して居る化學者が其の實驗室で發明した爆發藥が、瞬時に數萬の兵士を殺すことの出來る樣になつたのであるから、腕力は全く賴むに足らぬこととはなつた。而して又、ダン〳〵機械を用ゆることの多くなつた結果として、男の手や足の力をだすべき仕事が減り、從て男の無職業者が增へ、ウカ〳〵して居ると餓死せんければならぬ樣になつて來た。けれども其反對に男の頭の力を要することが增へて來た、例へば蒸氣船は便利なものであるが、之れを拵へるには、大に人の頭の力を要する。アスパルトの道を拵へるにしても、マキシ

ム速射砲や水雷艇を拵へるにしても、蒸氣、電力、風力、水力の器械を製するにしても大に人の頭の力を要する。又出來た上は極めて便利だが、之れを拵へるには多くの人の勞力をも要する。

昔は家を建てるにしても、極めて簡單容易なものであつたが、今は壁紙の型を一々拵へるにも、多數の人の腦力と勞力を大に要することとなつて居る。新聞紙は便利だが之れを拵へるには、多くの人の腦力と勞力を要するに至つて居る。昔は科學者を要しなかつたが、今は大いに要するに至て居る。政治にしても、文藝にしても技術にしても共に大に男の腦力を要するに至つて居る。是多數の化學者や醫者や、分析者や、技術者や天文學者や數學者や電氣學者を要する所以である。ソコで男の中に神經衰弱が流行するに至つたが、併し兎に角男の勞働の舞臺は、一方で減つても、他方で更に夫れ以上に增えて居た。

男はソウとして、女の方はドウ云ふ影響を受けたか、女史曰く

所が婦人に對しては、之れと狀態が違ふて來た。手や足の仕事が減つて、而かも腦力の働き場所が增えぬ。婦人の勞働問題と男子の勞働問題と異る點は玆處にある。

第一に糸は工場で紡ぐ様になり、衣服はミシンで縫ひ、パンはパンやが燒き、酒は酒屋で釀造し、牛乳は乳屋が配達し、甚しきは玻璃窓を拭く職業のものまであるに至つた。斯くして女の爲すべき仕事は日に日に減少し行くのみで、一向新しき職業が增えぬ。能くお婆さんなどは自分等の若い時分には衣服は悉く自分で仕立たものであるが、今の若い娘達は何んでも仕立屋にさす、横着で困るなどと小言を云ふが、お婆さんは世の中の事情が變つたには氣が付かないで一概に今の娘達を横着だと罵て居るのである。善い惡いの論は別として

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兎に角事情が變つたと云ふことと、縱し惡いにしても昔へ返ることは出來ぬと云ふことを知らねばならぬ。

第二機械の應用が盛になつて、女の爲すべき仕事がダン／＼に減つて、今では子を育てることまで人に托するに至つて居る乳母あり保姆あり幼稚園あり小學校あり中學大學職業學校皆備はり母親が其子を自ら敎育する必要もなくなつた。

日本では、まだ之れは上流社會に於てのみ見らるゝ現象だが、歐羅巴では上下擧てソウぢやとのことだ。

であるから極言すれば、第三に今はモウ一つの仕事しか女の爲には殘されて居らぬ、卽ちソレは子供を生むと云ふ一事である。而して此子供を生むと云ふ事も、昔は流行病で死ぬもの、獵で怪我するもの、或は又戰場で倒れるもの等が多かつたので多々益々結構だつたが、今ではソレ程產むことを要しなくなつた。されば今でも「アフリカ」の野蠻人の部落では『御家內衆のお腹が小供を生みやむとのなきよう』と希望するのが、客が歸る時の、挨拶であると云ふが、今日ソンナことを我等の中で云へば大變である。今日は澤山の子供を產むと言ふ事よりは、子供を少なく產んでソレを悧巧に育てると云ふことが大切になつて來た。

今でも亞弗利加のバンツウ族などの間に於ては、小供を多く產むと功名手柄をしたものゝ樣に云はれるソウたが、倫敦では、何にか惡事をして警察に引つぱられた女が、子供が何人あるかとの尋問に對して、ヘイ二十人ありますと答へると、大變な女だ子供を二十人も產む位な女なら惡い女に定まつて居ると云ふて、直ちに牢屋へ送られたと云ふことである。之れ程に、昔と今と、野蠻人と文明人と、子供に關する考へが違ふて居るのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯くの如く婦人の勞働の四分の三は最早男子に奪はれ、自然と消え失せて、最後の四分の一の勞働も終に其手より取り去られんとして居る。此事情が近世の婦人運動の根抵に横つて居るから、此意味を十分に看取するとせざるとに關はらず、今日歐洲に於て最も敎育あり才智ある婦人が熱烈なる叫びを擧げて其境遇を世人に訴へて居るのであります。

　さりとて再び昔日の野蠻なる簡單な生活狀態に逆戻りして婦人をして糸を紡ぎ碾臼を廻はし又單に之れをして子供を生む道具たらしめ、又男子をして日々獵や戰爭に沒頭せしむる事は絕對的不可能です。果して然らば、今日の狀態が推移して止まなかたならば、其結果はドーなるでしよう是れ第二章で論せんとする所であります。

行けど〳〵到らぬ空をしたひても
のぼるや人の心なるらむ

操山

婦人の精神病

出產前後に夫が不品行したりした爲めに、精神に異狀を來たした婦人は、第二第三と出產每にそれが癖になつて遂に立派な精神病者になつてしもふ事がまゝあります。

　精神病者に二種あつて沈靜になるのと、躁狂になるのとあります。それ〳〵患者によつて施術を異にするが、病院では草花や金魚を見せて目を樂しませたり、編物縫物などの作業によつて氣を落つかせたり。あまり氣の沈む患者には蓄音器を聞かせたり、それ〳〵について適する樣にして居るのです。精神病院は患者を押し込めておく牢獄と同じもの〻樣に考へて居るのは大變な間違で、面白く愉快な處だと思つて居られる樣でなくてはいけません。

　婦人の精神病患者は一時の心配、恐怖から來る事もあるが夫婦の不和、家庭の不幸、結婚問題男女問題から來るのが多い樣です。男子には事業の失敗經濟問題からのが多く來るが、婦人にはソウ云ふ原因からのはあまりない樣です。

　男子に比較して婦人の患者の方が一般に少數だと云ふ事はないでしやうが、婦人の方は家庭で取扱ひ易いから自然婦人の入院患者は男子より少ない傾向があるのだらうと思はれる。

（石川醫學博士談）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カシタンカ（飼犬の名）

チエホフ作
瀬沼夏葉譯

第一

悪巫山戯

一匹の赤毛の若犬が――タクスと番犬の雜種で、顔付が狐に可く似てゐる――人道を先へ駈けて行つたり後に戻つて來たりして、心配さうに路の端に立つて振返り、時折啼いて、其の凍えた足をかはるがはる上げては立留りながら、奈何して道に迷つたのかと、自分の頭を明晰ならしめんと努めた。

彼は其日に奈何したのか、奈何して這麼知らない途上で迷ひ子になつて了つたのかを自分でよく覺えてゐた。

其日の顛末は恁うであつた。其主人の建具屋のルカ・アレクサンヅロヰチは、帽子を被つて、赤い手巾に包んだ何か木で拵へた品物を腋に挾んだまゝ彼に恁う叫んだ。

『カシタンカ來い！』

自分の名を呼ばれて、このタクスと番犬の雜種犬は鉋臺の下の鉋な屑の中の、今自分の寢てゐた場所から出て來て、快ささうに伸をして、主人の後に駈出して尾いて行つた。

ルカ・アレクサンヅロヰチの顧主先といふのは、皆隨分遠くで、彼等を訪問るには、まづ其前に幾度

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

か料理店に入つて腹を拵へなければならなかつた。で其間、カシタンカは始終途々酷く巫山戯け散らして、些ともちやんとしてはゐなかつたのを覺えてゐた。一所に散歩に連れ出された嬉しさの餘り、彼は飛跳ねたり吠えながら、鐵道馬車に飛び付いて追駈けたり、或は何處かの邸内へ飛込んだり、他の犬を追駈けたりなどした。で建具屋はちよい／＼と彼を見失ひ、又見失ひするので、其度毎に立留つて怒鳴つた、或時は彼の耳を捉つて恐しい顔をして、ぐい／＼と振りながら、途切れ途切れに惡體を吐く。

『えい……こん畜生……虎列拉……斃死れ……』

ルカ・アレクサンヅロキチは顧主先を廻つて、些時その姉妹の許に立寄つて、何か少計の酒の肴で、一杯引掛けて出た。それから又知人の製本屋に立寄る、知人の製本家から又料理店に立寄り、それから後でさる教會上の縁者の許といつたやうにまだ其方此方へ寄つた。が、まあ、一言にして云へば、カシタンカが此の知らない途上で相失て了つた頃は、もう日も暮れ暮れの搗て加へて主人の建具屋は、まるで靴屋のやうに圖部六に泥酔つてゐた。手を振廻して、恐ろしい息遣ひをしながら獨語を云つた。

『我が胎の中に於て、母は罪にて我を生めり！あゝ罪、罪……さうさ、今俺達は恁うして町を歩いてガス燈の點火を見るのだが、うむ、その通りよ、死にや、地獄の火の中に燒かれるんだらう……』

さうかと思へば、又急に優しい調子になつてカシタンカを呼んで云つた。

『カシタンカ、手前は何だ、蚤蝨だ、たゞそれ切りのもんだ、人に手前を比べて見りや、まあ建具屋と大工だらう、やい、こら、丁度旦那樣違ひだつてことよ……』

其時だつた丁度主人が彼に恁う言つてゐた時、俄に音樂が鳴り出した。カシタンカは顧ると、街の彼方から自分の方に向つて、眞直に軍隊が來るのであつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。彼の神經は音樂に忽ち狂つて、堪え切れないで跳廻り、唸り出した。殊に彼に思の外な驚いたことは、此の際主人の建具屋も自分のやうに一所に驚いたりうなつたり吠えたりすると思つたのに、さうではなく、却つて主人は滿足らしく、顔を顰して笑ひ、矢庭に姿勢を正して直立ち、五本の指を揃へて廂の邊にかざして禮をした。彼れの見る處、主人は兵隊を厭がらないやうであつた。

カシタンカはそれで猶一層大聲に吠えて、車道を飛び越えて、向側の人道に一目散に駈け出した。

彼はやうやくに我に返つた時、音樂はもう聞えないし、兵隊ども丶ゐなかつた。で彼は舊と來た路の、先に主人を殘した場所に飛んで戻つたが、あ丶萬事休矣！建具屋はもう其處邊にはゐなかつた。彼は前に駈出して見る、又後に戻つて見る、又車道を飛越えて見る。然し主人の建具屋は影も形も見えぬ、まるで地の中にでも落込んで了つたかのやうに……。

カシタンカは人道の彼方、此方を嗅廻した、かれは臭で主人の行つた後を知り得らる丶と恃んでゐた。が、何處の奴かその前に路を新しい、護謨の雨靴で歩いて行つたので、皆微な、弱い臭は、この護謨の強い臭に打消されて、何れをそれとも解り得なかつた。

カシタンカは前へ駈出し、また後へ駈戻つて遍く尋ね廻るのであつたが、奈何しても主人を見付けられなかつた。其中に日はもう殆ど暮れて、兩側の街燈は輝き、家々の窓からは皆それ〴〵に燈火の影が射した。大粒のふわ〳〵した雪が降り出して來る。石を敷詰めた路の上も、道行く人の帽も馬の背も、辻馬車も皆白くなる、暗くなるま丶に四邊はいよいよ白くなりまさつた。カシタンカの側をちら〳〵と眼を遮りながら、また彼を足にて突き飛しながら行く、澤山の見知らぬお顧主達は、前より後よりぞろぞろと切りもなく通つて行く。(總の人間をカシタン

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

力は最も不平均に、たゞ二部に別けてゐた、主人達と顧主達と。で第一の部は自分を打つ權利をもつてゐる人達、又第二の部は其の人等を彼が自分の方から、其脹脛に嚙付く權利を有つてゐると思つてゐた。)このお顧主達は何だか非常に急いで、彼には何等の注意をも全然むけなかつた。

もう日はとつぷりと暮れ切つた。カシタンカは今は唯失望と恐怖に全く囚はれて了つた。彼は何處やらの入口の戸に身を投げ掛けて、悲しげに啼いた。一日中、ルカ・アレクサンヅロキチと共に歩いたのは、隨分彼を疲勞らした耳も足も凍え切つたのみならず、彼は酷く空腹でもあつたので。それもその筈朝から晩までたつた二度だけ彼は些と嚙つたのみである。一度は製本屋の所で少計り糊を甜めたのと、もう一度は料理店の見世臺の側でコロバサの皮を見付けて嚙つたのと、後にも先にもたゞこれ切りなので。若し彼が人間であつたなら、屹度さう思ふのに違ひないだらう。

『あゝ這麽生活が出來るものか！ピストルで遣つて了はう！』(未完)

かたらいの少女

川浪胡風

正午打つ夏の眞日中
花模樣なる鞘袋
月琴を彈く面白に
長き町家の塀日陰
汚れし兩の腕現らは
赤き銅貨を數へよむ
ナの字を背の銀印
數よむ乙女そとのぞく
學校かへり歌かへる
かなしく樂器かなづりて
三度妹をふりかへり
醒ケ井通り北へ行く。

醒ケ井通、堀川東
湯衣地派手に黄な袴
十字たすきを綾にして
乙女は膝を地につけて
車屋タオル絞りつゝ
破れし窓の西かげを
傘に黄金紙ゆすれ
青き脚絆と赤きやはん

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兒童の本能

一記者

◎兒童の本能として第一に注目すべきは、ものを投げることを好むことである。此の本能に滿足を與ふる爲めにベースボールの如き遊びを適度にやらさないと、犬に石を投げたり、鷄に石を投げたり甚だしきは通行人に石を投げたりする樣な惡戲を爲すに至るものです。

今日流行のベースボールに似た遊びが、四千年前エヂプトにて行はれ、支那、日本にも昔からあつたに見て、投げると云ふことがドンナに深く人の本能に根ざして居るかと云ふことが分る。

◎兒童の本能として第二に注目すべきは、物を寄せ集める本能である。木の葉を集めたり、石を集めたり、或は又虫類を集めて見たりする。此の本能を甘く導て行けば、兒童は之れによりて大に智識を增すワケであるが、惡くすると、此の本能から、人の店頭の品まで取て來る樣になるものです。注意せねばなりませぬ。

此の本能は大人になつても、無くならぬものと見え、世にはマツチのペーパーを蒐集するもの、郵便切手を集むるもの、古本を集むるもの、繪畫を集むるもの、茶器を集むるもの、乃至は煙管を集むるもの等が隨分多くあります。

◎兒童の本能として第三に注意すべきは、勞働の本能である。小供は働きたがるものです、然かるに親がソンナことをしては不可ん、アンナことをしては不可んと、無暗に干渉する場合がある。ソンナ場合には小供は空地へでも行て親に隱れて他人の家の垣の竹など拔いて來て小屋を拵へたり、何んか惡戲をするものです。であるから、親は小供の此の本能を利用せねばなりません。まだ出來ぬと云はないでしたがる仕事は成る丈け小供に、させなさい。

◎兒童の本能として第四に注目すべきは、眞似をする本能である。此の本能あるが爲めに語學など習へるのでありますが、惡く此の本能が働くと、活動寫眞で盜賊の働き振りを見て、直ぐ自分も盜みをして見たくなつたりします。注意せねばなりません。

◎兒童の本能として第五に注目すべきは火をなぶる本能である。此の本能が惡く働くと放火犯人となるのです。小供が花火を好むのなぞも此の本能ある故です。

◎善人の本能にも、惡人の本能にも變りはありません。たゞ同じ本能の働きが、程善く行つたか、然からざるかで、善人とも惡人ともなるのです。されば吾々の要するものは、モウ此の上に法律でなく、法律家でなく、心理學である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本女性史（五）

新眞婦人社編

六　明治と太正の女

王政維新と共に、日本人全體の心持が變つた、何人も西洋、西洋と云ひ、外を見て之れに習はんとするに至つた。

されば明治三年の頃より、早くも但馬の出石藩、豐岡藩、出雲の松江藩、周防の岩國藩、尾張の名古屋藩、備後の福山藩等が女學校を設立するに至つた。此等の諸學校は、明治五年の教育新學制の頒布と共に、何れも廢校となつたが、政府は卒先して女子師範學校などを設置するに至つた。

是れより先き横濱にフェリス女學校と云ふ基督教主義の女學校が設立されたが、引續き基督教主義の女學校が各地に起つて、新しき女を拵へる上に、與かつて大に力があつた。而して明治九年九月には、新空氣を吸ふた女の中から、早くも演說を試みる女が現はるゝに至つた。其の最初の女演說家は佐々城豐壽、豐田芙雄子、棚橋絢子の三女史である。明治九年九月の或日、女子師範學校に於て中村敬宇先生等が演說會を開いた、三女史は此の演說を聞きに行て、何にか感ずる所があり、遂に立つに至つたものちやソウな。

明治六年に創刊された、明六雜誌の紙上に、最初から森有禮氏などによりて男女同權論が堂々と論ぜられたのであるから、明治九年になつて二人や三人、女演說家の出るに何んの不思議もない。

自由民權論が喧ましくなるにつれ、中島俊子、松本荻江、下田歌子、中川幸子等、女流の演說家が大に増えた、地方にも亦越後の西巻さくや女史の如きが多數に出た、而して之れと同時に、婦人で新聞雜誌記者たるものも出て來た。中島俊子が板垣伯に聘せられて『自由の燈』の記者となつたのが、此の頃の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事で、之れが女記者の嚆矢である。俊子は單純に社内に居て思ふ所を書きさへすれば善いものと思ふて聘に應じた、所が實際上京して見ると、訪問もせよとのことであつたので、直ぐに逃げ歸つた。併し逃げ歸つて後も、社會に對する體裁上、『自由の燈』の紙上には暫らくの間、他人の手に成つた文章が中島俊子の名で掲載されて居たと云ふことである。其後俊子女史は、明治十八年より發刊されし巖本善治氏の女學雜誌に於て、屢々其の意見を發表して居た。

明治廿一年の二月より、本願寺派の藤里順乘氏等の手で婦人教會雜誌が發刊されたが、此の紙上に、井上瑞枝女史の文章が度々見えて居る。瑞枝女史は後ちに藤井瑞枝となつた。此の人娘時代より才筆及ぶべからざるものがあつたが、今でも『新佛教』などで時々、奇警な觀察を發表して居る。

中島、井上兩女史に次ぎては、竹越與三郎氏の夫人、千代子さんなどが、女記者として古い方であらう。千代子さんは民友社から出て居た家庭雜誌で、大に其の働き振りを見せたものである。

其後女で文章の書ける人が、ダン〳〵増えて來て今では各新聞社に凡そ一人位の女記者があるに至て居る。演説の方も、ドチラかと云へば、段々増える方である。著書としては井上直子女史の『日本婦人三論』が、女子自ら女權を主張した最初の本であらう。女子教育の方も、其後益々發達して、兎角の非難はありながらも兎に角、年々新しき女を澤山に社會へ送り出して居る。

女子の職業に就ても、明治十九年頃に於ては女が獨立の職業をするのは珍らしかつたものと見え、同年十月發行の『女學雜誌』に女子職業彙報と云ふ欄があつて、女工になつた女のことなど書いてある。其後女子で職業に從事するものは、増えるばかりで、今では女子の手の觸れてる職業の數が隨分と多いことになつて居る。而して各種の女子職業學校が何れも滿員の盛況を呈して居る樣な現狀だから、遠からず亞米利加に於ての樣に、女の手の觸れない職業が無きに至ることであらう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯く女子の敎育も進み、同時に女子で獨立し得る者も增て來た樣な次第であるから、男子の婦人に對する考へも、婦人自らの思想も知らず識らずの中に變つて來た。卽ち婦人の權力は次第に增進して來た。

最近になつて、ノラとマグダで點火されて婦人問題が非常に喧ましくなつて來たが、之れは右に述べた樣な、土臺があつて出來たことである。

最近五十年の歷史を回顧して大觀すると、婦人の地位はダン／＼と進歩して來て居る。婦人の自覺も大に進んで來て居る。けれども亦た他方から考へて見ると、婦人を進歩さす爲めに試みられた種々の計畫、色々な事業が、何れも立派な理由のあるものであるに係はらず何れもタイした結果を見ずに、短日月で倒れて居る。例へば女子の體格を立派にせなくてはならぬとの議論から、體育奬勵の目的で、色々な事業が試みられ、女子嗜輪會だの、女子富士登山會だのまであるに至つたが、何れも直きに倒れて居る、衣服改良にしてもソウだドレ位議論されたか知れぬが殆んど何んの結果をも殘して居らぬ。其他食物改良、家屋改良、家庭の改良、何れも同樣で、ドレ位議論されたか知れぬが、結果として見るべきものは、殆ど無い位に思はれる。嚴本善治氏は、曾て

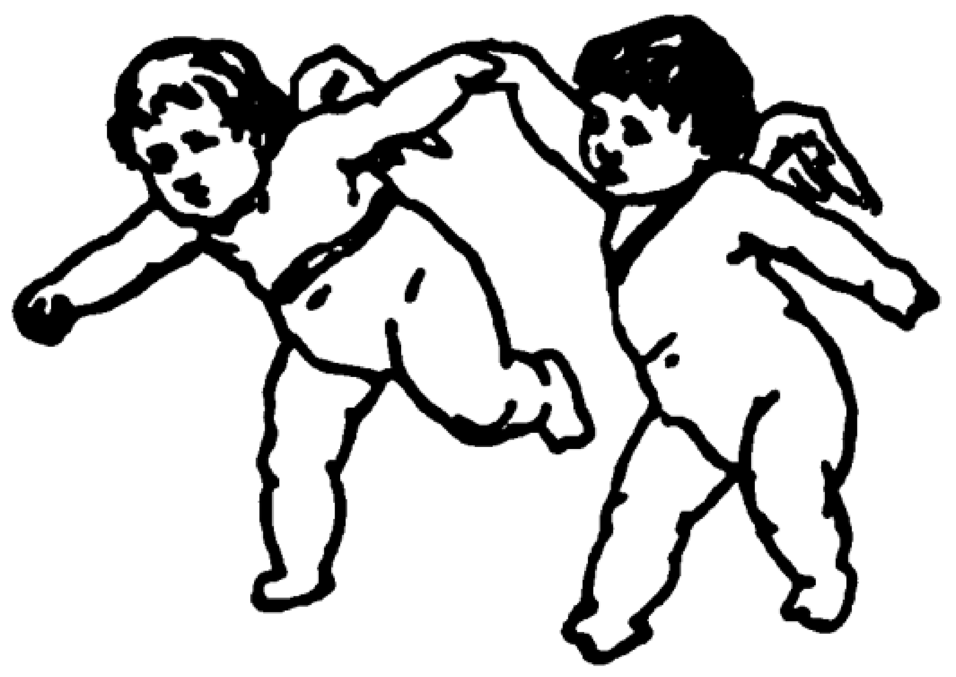
女子の爲めに盡すのは、マッチ擦つてはジユと云はせ、擦つてはジユと云はせして茶碗の中の水を温める樣なものである。

と云はれたとのことだが、全く其の言の通りである何をしてもタイした反響がない、無駄なことをして居る樣だが、幾度もマッチを擦てジユと云はせて居ると、遂には茶碗の水が温くなる樣に、して居りさへすれば、何時かはものになる、否多少の効果を殘すことが出來る。であるから私共も大觀して、失望をせぬ樣に心掛け、マッチで茶碗の水を温める樣な覺悟を以て事に當て行かねばならぬ。

日本女性史は之れを以て一と先づ終りとし、次號よりは女人國記を連載する考へである。毎號一國、次號には多分『越後の女』が掲載せらるゝであらう。材料の御寄贈を乞ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭衛生



私の家庭からドウして病魔を退治しましたか

斎藤秀三郎氏夫人談

■斎藤は元來祕結する體質で絶えず、下劑と灌腸機を離した事がありませんでした。所が一昨年で御座いましたか、英文のオキシパサーの廣告文を見まして、其の文章に技巧のない所から見ると、是れは僞りでないと思つて、神戸の取次所からコツソリ其の機械を取り寄せたのです、まだ當地にもなく、御使ひになる方もない頃でした。それから毎日書くのが職業で、手や足に機械をかけたまゝ書いて居て少しも妨害にならぬ上に、斎藤は元來規則正しくキチン〳〵する人ですから、毎日七時間づつ機械をかけて居ました。私どもが聞きましても何も申さないで、一人で信じ切つていたして居りました。スルト昨年になりましてからダン〳〵身體に變化のある樣になりました。皮膚にお腫物が大變出來たり、唾液がやたらに出まして火鉢の灰が悉くしめつて了ふ位でした。人によりましては鼻の大層出る方や食物が變つてこれまで好きであつたお菓子も嫌いになつて食べられなくなつたりするので、其の時閉口なさる方がありますが、それに耐えなければ何んにもなりません。

■そうして皮膚が一と通りむけ代つたのですが、只今ではいつも湯上りの時の樣につや〳〵した赤ん坊の樣なすべ〳〵した皮膚になつて居ります。只今ではモー以前の樣に祕結しませぬ、便通は規則正しく日に二度づつ御座います。私は斎藤が大變代りましたので信ずる樣になりまして、小供にでも書生にでも女中にでも怪我をしても病氣をしてもすぐかけてやるので御座います。非常によくきゝますが之れにも信仰と辛棒とが入ります。

■オキシパサーをかけ出しますと

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

病人の苦痛が一時は大變はげしくなるものですが、これではと思つて止めれば駄目なのです、そこを一つ辛棒して了へば乾度癒るので御座います。

■私の知つた人が膽石と申しまして胃腸に石のたまる病氣になりました、オキシパサーをすすめて致させました所、その苦しさと申しましたら普通の人ならばとても辛棒し切れない程でしたけれども幸その人は私を非常に信じ切つて居てくれましたのと、意志の非常に強い人でしたのでとう〳〵やり通して一ケ月程前に全快して神戸に參りました。

■大審院判事伊藤悌治氏の奥さんも肺病でとても助からぬ所をオキシパサーでお癒りになりましたので、この御恩は忘れない、どんな事でもオキシパサーの爲めには盡すと云つて居られます相です。それにいろ〳〵御説明にもお悉しいのですから是非あの方に伺つて下さい。

又私は田舍ものですから充分お話も致されませんが、牛込にそのオキシパサーの治療ばかりして居ります病院が御座いますから、彼方でお聞きになればよく分ります。何事でもやはり信仰の力で御座いますれ、私は多年求めて居りましても、どうも救はれませんでしたが、昨年やう〳〵本當に救はれまして有がたいと思つて居ります。煩悶したり苦しんだ上句でないと、とても神の有りがたい事は分りませんから、私はこれまで不幸な方を見るとお氣の毒なと思ひましたが、今頃はソレが反つて幸なのです、神樣は人から求めるのではない、神樣が人を求めて救つて下さるのです、救ふ爲めにわざ〳〵苦しめて下さるのだと思つて喜んで受けなければなりませんと申してますことで御座います。

■私はいくら信仰がありましても、やはり子供が病氣いたしますと困ります。オキシパサーが家庭にあれば醫師をかゝへてある樣で安心して居る事が出來ます。どこの家庭にも備へて置れたいものだと思ひます。私の家はコンナに大勢ですが昨年から一度も醫者を迎へたことがありません。併し素人は使用を面倒がつたり、規則的に使用することを忘れたりしますから、醫者がオキシパサーの機械を御使用下さると結構だと思ひます。

此頃はどうもつまらないものを大げさに廣告いたしますので、日本人は意地が惡くなつて居て容易に何ものをも信じなくなつて居ますから、本當の善いものも中々認められません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八ッ岳山麓農場日記（二）

吉川たみ子

廿七日、今日は村の氏神の春祭りで人夫一同正吉（これは常雇の老僕）も皆暇を貰つて下りたいといふ、本年農作の豊富を祈る祭禮で、神社ではお神樂が上つたりお神酒が下つたりして日々勞働のみして居る農夫等に取りては、何よりの慰藉である、尤のことと一同に暇を出す、正吉はそれでも、こんな山奥の一軒家に女衆や子供衆ばかりでは、不用心故私だけは殘りませうかといふ、此人は酒が好きでそんな場處へは餘程行きたいやうな樣子が見える、これより永き月日こゝで暮すといふに女や子供だけで居られぬといふやうな不便なことでは困ると思ひ、覺悟して皆一同下らせることにした。働いた日數と仕事の難易によりて賃金を計算し、それ〴〵勘定書をこしらへ調印して渡した、金は不用心故此處に置かず村の信ずべき人に預けておき、入用だけ渡してもらふやうにしてある、皆悦んで挨拶やら後の注意やら祭の案内やらをくど〴〵述べて下つてしまつた。

後は大水の引いたやうに淋しいものになつた、今夜のことが案じられた、こんなことで今日は內の仕事を少しして夕方になつた、いよ〳〵心細い夕飯を早くすませ、家の周圍をかた〴〵閉めて一同爐邊に團まつた、子供は怖い〳〵と袖にしがみつく、山の奥から狼が私等を食べに來たらどうしませうと、五才の女子がいふ、そうしたらおれがこの斧で殺してやると強いことを男兒がいふ。神樣がちやんと守つて居て下さるから何もこはいことはないと、お祖母樣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が言はれて居る、それでも如何にも物すごい、邊りはしんとして水の音のみ冱えて來る、遠くにコンコン〲と狐のなき聲がきこえる、こんなに狐のこゑを鮮かに聞いたことはない、薪を加へて爐の火を盛んにし何よりの力と祈禱を始めた。

讃美歌二百二十

いつくしみふかき主の手にひかれて
このよのたびぢを歩むぞうれしき
さびしき野べにも、にぎはふ里にも、
主はともにいまして、われをぞみちびく、
ゆきなやむ坂も、おつべき谷間も、　主の
手にすがりてやすけくすぎまし、

聲さえて天にも通ずるやう祈りも一しほ聴かる丶やうに感じた、これで一同寢に就いた、時々この寂寞を破りてゴーーーゴトンと天地にひゞくやうな音がして度々はね起きた、何だか更に分らない幸に事なく夜が明けた。

廿八日今日も好いお天氣である、お祭りの中日で無論人夫は上つて來ぬ、話に聞いた祭禮の賑ひを想像して居る、里程が遠いから太鼓の音も人の聲も何も聞えて來ない、十時頃に正吉が息せき切て上つて來た、村の懇意な家々から頼まれたとて、迎ひに來て呉れたのでお祭りの賑ひなどを語りぜひお伴して行きませうとしきりにすゝめる、折角の御厚意無にするも心ならずと老母と子供を遣ることにした、お土産といふても何一つ求めることも出來ぬ山中手製の食パンを拵へてお重に入れ、正吉に背負せてやつた。子供はうれしそうに祖母樣に手を引かれて行く、こんなことで彼れ是れ時間がかゝつてしまつて碌に仕事もせず夕方になつた。

今晩はいよ〲淋しい私と姪と二人の小さき子だけである、昨夜のゴーーーの音は正吉に聞けば山の上から小石が崖を傳ふて落ちて來る響きが周圍の山に反響して魂消るやうな音がするのだとの事で、先づそれは安心した。他の者の寢靜つてからも一人で帳簿を記したり日誌を書いたりして居る、不意に人の足音がする、さあ大變と急に火を吹き消し息を殺して樣子を窺ふて居ると今晩は今晩はと戸をたゝく内から返事をせぬので戸をぐい〲動かして居る、葛で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

結びつけた戸直ぐに明きそうだ、私はどなた誰と聲をかけた。其人は答へて私は旅の者ですが道に迷ふて日を暮しました、どうか一晩お宿め下さいとたのむ、姪を起して小聲で相談して見た、惡い者が人の家へ押入るには、大ていこんなことをいふがそんなことではないかしらん、それでもこう見込んで來た以上はたゞで歸るものでない、一そ內へ入れて欲しいものを與へてしまふかと、いろ／＼言ひ合つて見たがよい分別も出ない、それでもほんの旅人かも知れぬとも思ひ先づなるべく豫防をして見ようと、それではこゝは多勢の人夫が寢て居つて狹いからそちらの小屋へ行てお宿りなさいと言ふ、旅人は有難うございますとて、あちらへ行つた、一寸一息したがなか／＼氣がゆるされぬ、もしも今に彼人が押入て來はせぬかと恐ろしさに眼も合はず、胸もどき／＼して眠られぬ、二時が打ち三時が打ちとうとう四時になつた別に人が來そうにもない。まあよかつたと、早朝起きて火をたきつけ昨夜の人の樣子をそと窺いて見た着物を着たまゝ足もそのまゝで爐邊に寢轉んで居る、確かに盜人ではないことが分つた、こちらへ來てお茶を飮みなさいと案內した、顏を洗つて這入つて來た。手織り木綿の丈夫らしい揃への着物と羽織を着て實着な商人らしい人である、だん／＼話を聞けば、此人は信州原村の人で佐久郡へ往來して蠶種などを商ふ人で、昨夜下の村へ一寸立寄つた處がお祭りの饗應にあつて遂遲くなり、原野のまん中で日を暮し困り切つて居た處が、遙か向に幽かな燈火が見えるので力を得てやうやうたどり着いたとのこと、まあ氣の毒なことそんな事なら直ぐ戶を開けて宿めて上げるのであつたが實はかやう／＼と盜人と思ひ違へて用心した話をして大笑をした、それから朝飯を饗しお辨當持たせて立たせた。

　四月二日桑苗が到着した早朝から馬が幾頭もで附け込んで來る人夫も揃ふて居る、荷を下し數をあら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ためて受取るやら駄賃を勘定するやらで、なか〳〵忙しい、取敢へず代差しにして置く桑の種類は魯桑鶴田赤木高助大州などといふ高等種類を主として、松本信夫などといふ下等の種類合せて二萬本、之を三町歩の畑に割り宛て〻植ゑ付けるので、一坪に二三本の宛になる、午後から植ゑ込みにか〻る、それ〴〵手分けをして土を堀る者、苗を挿すもの、根を直すものといふやうにして居る私等も一緒になつて苗を運んだ、場が廣いので二三日はか〻る、夕方良人が來られた、苗の植ゑ付けをしらべるため、それに明日は日曜であり明後日は祭日で休日がつゞいたので、仕事の指揮監督のためである。賑かに夕飯を食べ、團欒していろ〳〵の出來ごとなどを話した、子供等はおみやげを頂いて大よろこびである、こんな處では菓子などは、ほんとうに珍らしい尊いものである。罐詰や干魚やお菓子類いろ〳〵氣を付けて持つて來て下さつた、女の子二人が手紙を送つてこちらの事を心配することや、自分等が機嫌よく學校へ通ふて居ることや、二人で骨折つて家事を營んで居ることなどが姉の手で書いてある、このお土產も私等がとゝのへましたなど書き添へてある、妹の手で暑中休みには早くまゐりますと小さき紙に書いてある。今宵は、こちらは、にぎやかでよいが、二人限りで留守して居るあちらの女子のこと思ひつゞけて心配で堪らなかつた。(つゞく)

與謝野晶子女史の談片

男子が藝娼妓に戯むる〻などは本當に面白くない事で、全くソンな事はなくしたいものだと思ひます。然し又男子に同情して見ると、こんな事も考へられます。四十五十になると生理上男女はどうしても一致を欠ぐのではないかと。そうだとすると下等な淫賣婦などを弄ばないで眞の戀愛によつて第二の結婚が出來る樣に婦人が寬大になる方がよいかとソンな事を考へて見ます。

私は女の子に、女だからと云ふ特別の感じを與へないつもりで男の子と同樣に敎育して居ります。併しなか〳〵理想通りには行かない女の子は弱いものです。それでも其の爲めですかうちの子供は眞に淡泊なもので『赤ん坊はどうしてこんなに小さいのに男の子と定められたのです』と問ひます『だつて散髮して居るではありませんか、女の子ならば髮が長い筈ですのに』と申しますと、『フン成程』と云つて居ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短歌

小口みち子選

一等　京都市東堀川四條下ル　林美禰子

思ひ給へ夢はさら〳〵月の夜の、波のかしらのそと光るごと

二等　東京市赤阪區氷川町四　日暮靜子

君もまた悲しくまさむおひらん草、花うす紅み咲きいでにけり

三等　中澁谷五六七　村磯象の子

嫁ぎ來て曇れる午後は門に出で、淋しや心草などを摘む

選外

林美禰子

うそ寒きゆうべなりけり母の背に、云ふこともなく聞きしひぐらし
水色の山にかこまれひぐらしの、音につゝまれてたそがるゝ國
思ふ事殘ろくまなく語らひて、歸り來し夜のうすら淋しき
たゞ廣き大海原のいつしかに、夜明くるごとき胸の淋しみ

日暮靜子

紅玉の君が指環のほのひかろ、月夜の海の遠白きかな
月草に宵月させば紅き花、瞳のごとくつやゝかなれば
若草山夕ぐれもやに香をとめて、五月となれば奈良はかなしも
貝からの一つ一つにかなしみのひそみて寂しいその道行く

村磯象の子

人と云ふものに生れし此嘆き、死すより外に休息のなし
病める身はいつまで生きむ若き身は、老いし人よりいたましきかな

東京　岩崎すゑ子

とめどなく泣ける可愛き吾妹子の、頬に浴びたる落日のいろ
あてもなくたゞに見つむるまゝなりき、熱き涙の頬をぬらすとき
ある時は眞白き少女夢に來て、讃美の國に誘はむと云ふ
すべての血のぼりつくさむおもはゆさ君と逢ふ間の其夜一と時

高橋かや子

ろりいろに澄みたる川の水底に、下りつ上りつなどろ魚かな
くらやみに猫のひとみの光ろごと、わが悲しみはつのり出でにき
夏川にわが衰ろへし顔つきのうつれば悲し月白くさす

正親町ゆみ子

みなとえの紫紺の潮にゆられつゝあはれに匂ふ水草の花
しら〳〵と霧ふる森の曙の木立のなかにほとゝぎすなく
人おもひ心淋しくかへり來て、ちりしく椿ひとりふみにき

藤井夕子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

戀しきはわが君住めるふる里の青松つゞく濱邊のあたり

ふる里のくらき海邊に夜となれば、われをおもひて泣く人や誰

松丸稲子

女ならばあひたきまゝに放火せし、お七の如き愚な女

近藤なほ子

いさゝかの事を悲しきものとして泣くなる我れによく似たる人

横濱　岩崎すゑ子

我も又似たる責をば負ふものか、エデンにありしアダムとイーヴ

品川に君と別れて道行けば耳もとかすめとぶ鳥のあり

ふとくらし我死を思ひみかへれば、壁にさびしや我影ゆらぐ

矢萩露子

しほみたる君おもひ草つめる時、月は彼方の山よりのぼる

ひなげしはうすもゝいろにうきて咲く、君をおもへば風吹きぬ今

選者

夏の夜はうら葉せる衣の裾、さや／＼曳きて海とねなまし

投稿者諸孃の御奮勵によりて今月は非常に愉快に選をすることが出來まして私は滿足を致して居ります。和歌に就いて少しく自分の意見も述べて見たく、又最近の歌壇の有様も充分觀察して、諸孃と共に向上發展の資料に致したいと存じまして本誌の責任者たる西川女史ともより／＼協議を致して居ります。何等かの方法をもつて今少しく本誌の歌壇を賑はしたいと切に希望にたえません。

俳句

夏山茂子選

一等

市人の鯊釣歸る花野かな　石山薫子

二等

廓の子の寄り集ひけり繪燈籠　木村小夜子

三等

暗がりに物喰ふ鹿や奈良の秋　長谷川清子

松の奥温泉ある萩の旗亭かな　同

筏組む裸男や雲の峰　吉波貝子

夏の野や野葡萄採る子五六人　同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名月や烟草の烟の影うつろ　松丸稲子
眞黒き天文臺や今日の月　同
新涼の街なつかしき灯かな　澤村園子
蓮伐る人﨟たけし朝の院　同
日を負ひし森の暑さや雲の峰　吉原とみ子
蚊帳釣りて晝の殘りの書見かな　片桐潤子
水樓の灯火暗し杜鵑　賀田桐江子
おくれ毛の耳にからまる殘暑かな　岩田豊子
短夜やまだ讀さしの七部集　海老澤鐵子
初蟬や花散る桐の梢より　鈴木かれ子
小流に流星飛んで秋近し　齋藤とみ子
麥刈しあとに二葉の小豆かな　山崎惠久子
歸省して午睡の窓や蟬の聲　森あき子

我が子の寫眞の裏に　選者

よく笑ふ吾が兒と語る涼しさよ

■丁抹の婦人　は、女は結婚によりて、男と友人となるのである、奴隷となるのでないと云ふ主張から、此の程、結婚の儀文の中の「服從」と云ふ文字を取去られればならぬと決議したと云ふことである。

理容舘の施術室

一記者

施術室へ囚はれの身となつた私の身體は、もうよろしいと云ふお許しの出る迄はどうしても、此白衣の天女の自由自儘になつて居なければならぬのである。

椅子へかけるとギイと音がして、仰向けに私は寢臺の上に横になつた。ピカ〳〵光る器の中から湯氣が景氣よくポー〳〵と上つて居たが、其中から眞白いタオルを取り出して私の顏へ被せて下さつた方は、お熱くは御座いませんかとお聞きになる、誠に心持ちのよい匂ひがして、氣が遠くなつて終ひそうであつた、いつでも私はそう思ふ此世の中が厭になつて本當に死んで終ひたくなつた時に、誰れかゞ横からイヽ加減にあん梅をして、コロロホルムをかゞして呉れゝばよいに、夢現の間に遙かに天上をした

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

魂の行方は、如何に安穩で又美しい物であらふ等と、理容館の施術室の寢臺に横はつて居て、私は平素よりも餘計にこんなことをおもつて見た。

スベ〳〵としたよい匂ひのクリームが顔に塗られると、柔かい指尖が私の顔の眞中でスケートをして居るやうであつた。

スポン〳〵と云ふやうな音もかすかに何處かでして居るやうであり、章虫の疣がキユーと吸ひ付くのかとおもふやうな心持ちがした事もあつた。

それからタオルの熱いので輕く拭かれて、又暫らく此度は指尖がスケートではなくつて、ダンスを初めて居るらしい、面白そうに又樂々と十本の指がいゝ心持ちに私の顔の上をとんだりはねたりして居るやうであつたが、何時とはなく私はそれからあとの事は知らない、全く知らない夢路を辿つて居たのであつた。

氣が付いた時は全く綺麗に顔のお掃除が出來、そして美しくお化粧も出來て居た、少々氣恥しいやうな又心嬉しいやうな氣持ちがした。

「お疲れになつた時にはおしやれではなく、頭腦をお休めにお出でになる方が澤山御座いますのよ、是非に又其中にお出かけ下さいましね」

とおつしやつた「大正二年八月某日生れて初めて美顔術に行つて見た記」と大きく書いて置いた。十年の後に出して見たらどんな感じがするか我れながらをかしさを禁じえなかつた。

■妙な原則　嘉悅孝子さんは『日本の婦人は外國と異つて家庭の人となるべきものと云ふ動かす事の出來ない原則があります』と云はれたソウなが、私は此のお言葉を承はりまして、思はず吹き出しました。歐米の婦人だつて元は『家庭の人となるべきもの』だつたのでしようソレが經濟上の變動から、或者はソウ出來なくなつたのでしよう。同じ經濟上の變動が日本にも起りつゝある以上、日本の婦人の中にも嘉悅さんの原則にはまらぬ女が增えましよう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東西南北

▲輕井澤より　松井須磨子

論は實に公平なる御論大に感じ申候、何事も精神誠意奮勵あらん事を祈る知人の一人は奮にもあらず新にもあらず(山の神)

淺間噴火の事が棒大に吹聽されし影響か、日本人の避暑客は減じ申候、流石に外國人は一人位滯在に候今夏より護謨輪の車が十五六臺、ピクトリヤ形の馬車三臺も出來、益々ハイカラ發展に候、八百屋迄が横文字の看板を出す當地日曜は各店は閉じ候、折しもろゝ讃美歌はこの山中にては實に詩的に感じ候も妙にはあらざるなり（山靈）

不二の根は絶へぬと聞くな淺間山
こゝろ高くも立つけぶりかな　蘆庵

白雲の集ろ白や淺間山　幹雄

▲白耳義より

御端書と雑誌と有りがたう、大そう立派な雑誌でうれしく拜見しました。當地に來て見て僕は西洋の男子が哀はれに思はれて來ました。女は肩を怒らし反身になつて大道を濶歩するが、男は其手に縋つて鞠躬如として歩いて居る、結婚は女子の解放だといふ俚諺があると同時に、既婚男子の顔色が一般に陰鬱の氣を帶びて居るのが奇妙です、結婚は鐵鎖にして家庭は牢獄だと青年は云うて居ります、眞に氣の毒な事ではありませんか。日本も追々そうなりはしませんかれ、其内一文を草して送ります右御禮のみ匆々(石川氏)

▲渡邊文子様より

前略來月の五六日頃までにはカットの方お送り申すべく、目次の上にも何かとりかへ度くぞんじ居り候まゝ、これもその日頃には御目にかけ申すべく候、八月號の小川氏の表紙誠に〱けつかうに拜見致し申候、毎月あの樣な表

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

紙を拜見する事が出來たらどんなにいゝことかと思ひ申居候。(八月十日)

▲元町より(渥美勝氏) 啓上。昨日御宅を音訪れまして貴婦は留守。白熊兄の勉强の邪魔をして時餘閑談、歸りがけに、例の行乞の米一升と、本月號の新眞婦人及道雜誌を貰ふて歸りました。歸來早速にこの米を洗ふて火に掛けて、煮ゆるを俟つ間、兩誌を通讀しました。『男女共に手を携へて人世の戰を戰ふと云ふ時代の來らんことを云々』御尤もと存じます。自分の存念に於ては、世を拓く責務を負ふ上に於ては、男も女も人として平等、而して男ならぬ女と、女ならぬ男とが手を携へて世を拓く道に入ろ作用の上には又自ら別様の趣あり其別樣の趣ある兩者が共働に入ろ所に人生の意味の内容を益々豐富にすることゝ思ひます、此兩者を充分に摂り分けて、誌上にも、事業にも、世相の實態の教導批判を充分にやつて戴きたいと存じます、申す迄もなく男女問題は今の時に於ける最重問題の随一でありますから、眞劍に男も女も頭をしぼる可きだと存じます。

道雜誌を讀み行く中に村上郊外さんの

かたつむり新らしいのか古いのか

の句吟に目が觸れまして、女性問題、男性問題、人生問題に對する自分の感想がふともつれ合つて

かたつむり古くも見えていや新しう

と駄句りました。古い中でも最も古い噺の諾册二尊は總男子と總女子の最初の對面交語と見て

『汝と吾と目合して善き子生まなむ』

之れは最初の交語にして又最終までの響ではありますまいか、

男女相敬重して相談づくに更らに又更らに新しき世を拓き行く、此所にも唯眞故新の意義があらうと存じます、親の中に神を見、配偶の上に神を見、子の中に神を見ろ、自分はこうあり度いと念じて居ます、矢張り命の問題でありまして、男女問題も矢張り總人類の命に對するどん底から見付けて行き度いと思ひます。何れ又。

▲輕便しみぬき油 之れまで、襟の油しみなどをぬくに、揮發油を用ゐていましたが、今回新に東京瓦斯會社より發賣の『輕便しみぬき油』に代へて見ました所、此の方がしみもよく拔け、惡臭もせぬので、之れからは此の方を常用にしようと思ふて居ります。

▲腋臭患者の新福音 腋臭は古來より不治の難症として醫療も施すに術なく唯だ姑息的に一時の防臭藥を應用するに止まりしが爰に東京市神田區五軒町拾九番地日新舘藥房にて製造せし腋臭必治劑は現時獨逸藥學界にて發見せし新最藥を主劑とし百方研鑽實驗を重れ今回漸く完成せるものにて卓絶偉大なる藥力の作用により腋窩汗腺内にある一種の病原毒素を變質全滅せしむるを以て頑固慢性難症の腋臭も根底より完全に治癒し再發或は他病に變ずる患ひ絶對になしと云ふ從來世人に嫌忘れたる腋臭の爲め多年煩悶苦惱せし患者は此新藥の發見を以て再生的福音に接せし思あらん。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊紹介

▲今の女（報知新聞記者磯村春子氏著）

著者は報知新聞の女記者として健筆を振はるゝこと茲に十年。其の間に得た訪問記及觀察記の中より、粋を拔きて拵へたのが本書である。貴婦人の美人論があるかと思へば、萬年町の夕あり。探偵長の家庭があるかと思へば、美顏術師の店あり。宗教心の乏しい女もあれば、新しい女の標準もあり。問題の女もあれば、古い女の完成もあり。結婚媒介所もあれば、罪の女もあり。有ゆる方面に亘りて、今の女が紹介されて居る。婦人問題社會問題の研究者 には尊き參考書で あると考へる。附錄には婦人記者の十年あり、之れ又頗ぶる面白く有益に拜見した。而して最後に此の書一讀後の感じを云ふと、私共は春子女史の勇氣に非常に感服しました、女史は誘惑多く、苦心多き新聞記者と云ふ職に十年立派に堪ゆることの出來た、婦人界の勇者の一人である。將來は知らず、今日の所では、女史は確かに婦人界の珍であると思ひます。（八十錢 神田區駿河臺南甲賀町九 文明堂發行）

▲小野小町論（黑岩涙香氏著）

我が日本に、今より千有餘年前に、日本女史の爲めに、活きたる手本を示した偉絕壯絕なる貞操の女神あり、小野小町卽ちソレなりとて大に絕對貞操論を說いて居られる。のみならず考證綿密にして前人未發の見が多い。著者は小町の戀人の本體を硏究して、深草の御門なりと斷定して居られる。そして小町が終生夢の中ならでは 戀人と 相見る事の出來ぬ境遇を現はされた處なぞは そゞろに 涙が催されろ、著者は流石に小說をかゝれる丈けにこんな議論めいた傳記でゞも 小說以上に 讀者を引つける。此の書は日本の婦人を警醒する所多きのみならず、又實に日本歷史の硏究に寄與する所か多い （六十錢 京橋區弓町萬朝報社）

▲輕井澤（九皐亭主人著）

信州輕井澤山の神よりとして此の書を送て下さつた。山の神の何人なることは分らないが、御親切感謝の外はありませぬ。輕井澤の歷史から、地理、淺間山のことまで精しく書いた、小形ではあるが 三百七十餘頁の美麗な 寫眞入澤山の本である。私は此の書を讀みて輕井澤の涼風にふかれつゝ『白雲の焦る句や淺間山』の偉觀に接したいものと遊意大に動きました。（七十錢 京橋區銀座四の一 敎文館）

▲鐵道沿線遊覽地案内（鐵道院編輯）

內地は元より臺灣、朝鮮、南滿洲、に至るまで、鐵道線路を本として、、各地の名所古蹟の事が一切出て居る、此の一册を携帶せば、巡覽者は何所へ行ても肝要なものを見落したりはせぬ。從來のコウ云ふ種類のものに比すると、文章も甘く寫眞も實に立派である文章は高濱虛子の手に成つた ものだ との ことである。御入用の方は博文館へ申込むと 買ふことが出來る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文學博士 森鷗外先生序
文學博士 上田敏先生序
與謝野晶子女史著
中澤弘光先生彩畫

新譯源氏物語

上巻中巻
下巻二冊 四巻完成

特價提供

■上巻自桐壺至乙女廿一帖 ■中巻自玉髪至夕霧十八帖 ■下巻の一自御法至寄生十帖 ■下巻の二自東屋至夢浮橋五帖 ■鳥子紙繪巻物風極彩色金文字入ギルト附箱入頗美装木版極彩色畫五十九葉挿入 ■正價毎冊金參圓宛 ■特價毎冊 **貳圓五拾錢**

歐洲の藝術史に未だ何等の傳ふべき作物を有せざりし**十世紀**に於る女詩人**紫式部**を絶東に出だし、其曠古の傑作小説**源氏物語**五十四帖が何等の因襲に羈東せらるゝ所なき**純藝術家**の態度より書かれ、當時の京洛に於ける貴族社會の情緒生活を描いて理想主義に走らず、偶然にも近世の謂ゆる**寫實**主義又は**印象**主義の文學と筆致を同じくせるは世界史上の**奇蹟**にして且つ日本文明の永久に**誇り**とする所也。原作は既に一千年前の古文にして甚だ讀み易からず、且つ世に註解の書あれども概ね字句を曲解して情味の眞を傳へず曩に與謝野**晶子**女史が前人の未だ企てざりし所に向て筆を着け多年の刻苦を經て**新譯源氏物語**二巻を公にせらるゝや世の識者皆**譯者其人**を得たるを稱揚せり。平安朝の文學と歴史に**精通**し併せて當時の情緒氣分に尖鋭なる**直觀力**を有する女史を待つて初めて能くせらるゝ一大事業なれば也。女史近く歐洲より歸つて更に新譯の稿を繼ぎ、茲に下巻二冊を大成して**全譯**を完結せられたり。今や「源氏物語」は**現代の紫式部**たる晶子女史に由て何人にも平易に鑑賞され得べき**現代語**の傑作小説となり。加ふるに**中澤**畫伯の挿畫**五十四葉**は悉く木版奉書摺極彩色にして內容と相映じ**華麗凄艶**とりどりの趣を盡して平安大正の兩期に於ける二才女の合作を飾りつゝあり。

繪入**內容見本進呈** 往復ハガキにて御申込を乞ふ

■**發兌元** 東京市麴町區平河町五（電話番町二〇九三）（振替東京三八一七） **金尾文淵堂**

六合雜誌

定價一册貳拾錢 ■ 九月號 ■ 六册壹圓拾五錢

■ 宗教對藝術の問題 ■

■當面の問題……片上伸■
■宗教と藝術との合致……石坂養平■
■人生醇化の努力……大住嘯風■
■藝術の獨立……茅原華山■
■獨立と提携と……乙骨三郎■
■氣分の內と外……安部淸藏■
■融合の中間……岡田哲藏■

■一家言■

相馬御風　三井甲之　高木壬太郎
阿部次郎　川出麻須美　松本雲舟
柳宗悅　廣瀨哲士　戶川秋骨
武者小路實篤　田中逸　折竹蓼峯
厨川白村　栗原基　小林愛雄

■眞と美と生命……内ケ崎作三郎■
■精神生活より宗教と藝術へ……三並良■
■生活と宗教と藝術と……內藤濯■
■驚異の殿堂……吉田絃二郎■
■宗教問題と歐洲藝術家……SAN■
■戲曲黎明……エルアーレン作 吉田絃二郎譯■戲曲反抗……ド・リイル・アダン作 內藤濯譯■
■詩……佐藤淸■歌……野口絹子■ガリラヤの朝（繪）有田四郎■

發行所 東京市芝區三田四國町 六合雜誌社

振替東京 三〇〇〇一

東洋大學講師　釋清潭先生新著

狐禪狸詩

三六判美本
定價六十錢
郵稅八錢

今世何ぞそれ狐禪狸詩の多きや著者大獅子吼猛然として起ち狐禪の窠狸詩の窟一蹶して之を壞る其の毫端に上りしもの實に此の一書なり今や裝成りて人間に橫行す世の狐禪狸詩に太平なる者は讀むも詮なしただそれ狐禪狸詩に不平なる者のみこれを讀むべし

釋清潭先生著
寒山詩新釋
定價五十錢
郵稅八錢

大內青巒先生著
禪の極致
定價六十錢
郵稅八錢

釋清潭先生著
和漢高僧名詩新釋
定價五十錢
郵稅六錢

高島米峯先生著
一休和尚傳
定價九十錢
郵稅八錢

東京小石川原町六　振替東京一五六八六　丙午出版社
東京小石川原町六　振替東京一三五三　鷄聲堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

當代青年の代表演說

大日本雄辯會編

剛健なる青年の必讀すべき無二の產物

▲帝國大學早稻田大學はじめ官私各學校の學生雄辯家が其勉勵と努力と精力とを傾倒したる代表的演說にして既に好評嘖々たりしもの三十一篇をあつめたり……

青年思想界の最高權威!!

青年雄辯集

演說練習者の絕好模範!!

▲朗々として高讀せば悉くこれ名調子の演說たるべし。即ち携帶の至便を計りて三六版とし音讀の利を思ふてふりかなを附せり、綠陰、水邊、現代青年消夏の好侶伴也……

理想ある青年の寸時も離し得ざる書籍

三六版五百五十頁
美裝總クロース函入

最新刊

定價九十錢
郵稅六錢

東京駒込阪下四八
大日本雄辯會發行
振替口座三九三〇

瀬沼夏葉女史譯

チエホフ
二大戯曲

櫻の園
(附)叔父ワーニヤ

袖珍型天金特製
「鴨」と同型美本

■定價六拾錢
■郵送料六錢

『櫻の園』附するに『叔父ワーニヤ』を以てして、チエホフの二大脚本に收めたり。此二作が識見ある總ての批評家の推讃を受け、歐洲各國の劇場に演ぜらるゝこと實に幾百回。犀利にして皮肉、深刻にして明快、ユーモアに富みたる彼れ一流の哲學及び人生觀と、其の圓熟渾成せる技巧の姿とは、以て遺憾なく窺ふことを得べし。夏葉女史はチエホフに私淑多年、チエホフ紹介者としての確き自信と自負とを以て此二作を原語より邦譯す。その辭句、その調子、はた其氣分を傳ふるに於いて、一毫の間然すべきものなきを疑はず。小社は此稀有の好譯本を我が文壇と劇壇とに提供するを得るを光榮となすもの也。

東京市麹町區飯田町
三丁目二十五番地
新潮社
電話番町二二二三番
振替東京一七二四二番

大正 婦女社會

九月一日發行號目次

養父母に虐待されし美人の成功 …… 一記者

定價
一冊拾五錢外に郵料壹錢五厘
半年分六冊郵料共九拾四錢
一年分十二冊郵料共壹圓七拾八錢

▼腹に石ある人 …… 文學士 村上辰午郎
▼初秋には是れ丈注意せよ …… 吉岡彌生子
▼空手で仕上げた貴しめ屋の夫婦 …… 櫻川町人
▼尊ぶべき尼さん …… 嘉悦孝子
▼下婢の講習 …… 文學士 柿山清
▼金持病 …… 農學博士 横井時敬
▼笑の話 …… 文學士 なにがし
▼怒の話 …… たちばな
▼死後の命名 …… 小川直子
◎百年迄も生き延びる方法 …… 醫學士 櫻林格藏
○農業道德 …… 文學士 村上辰午郎
▼日本婦人の短所 …… 文學士 三輪田元道
○白蟻 …… 理學博士 佐々木忠次郎
○燐寸の話 …… 林學博士 本多靜六
○小說 漂泊美人 …… 岡田朝聲
○講談 初日出姉妹仇討 …… 龜甲齋白若
○義士銘々傳赤垣源藏 …… 早川辰燕
○小說 夢の松風 …… 竹內蘆笛
○ニユージーランド土人マリヤ種族 …… 理學士 石田收藏
伯林で觀た奇術とダンス …… 木村西吉

東京市麴町區下二番町七十番地
大正婦女社發行
振替二〇五九九番

純正なる主義と清新なる趣味と活社會の實情と

世界之日本

天下の青年悉く本誌に集まる

一年分税共 金一圓廿錢　第四巻第(一月一回)九月號 定價十一錢　半年分税共 金六十錢

新政黨の策士木下謙二郎君の吹き振り……猛進居士

◉選擧權擴張の急務……說　說

▼我國に政治家無し……細井肇

●男性的宗教……早大教授 永井柳太郎

▼大隈伯邸の半日……鐵山居士

■木曾路の旅……村島歸之

三箇の柩……三河島の住人

■秋の夜の月……長橋大河

露國の處分乎日本の處分乎……萬朝記者 茅原華山

三政黨比較論

●指揮官のみの新政黨 ●大將と兵卒の國民黨 ●時代思想の權化政友會 ●悉く是れ骨董品のみ……立憲青年黨幹事長 橋本徹馬

●文官任用令の改正を論ず……伯爵 大木遠吉

▼水野內務次官と語る……社長 橋本徹馬

●支那の富力……高橋秀臣

▼米價問題の問題……吉田與山

■烈女官妓論……田中雪次

■東京市の暗黑面……毘盧舍那

■世界の大勢……本誌記者

■社會日誌……逸話奇聞

◉山本首相と袁世凱……代議士 早川鐵治

電燈問題側面觀 ■■欺かるゝ勿れ！欺かるゝ勿れ 陋劣極まる安藤電燈部長……社說

發行所 東京市神田區駿河臺 世界之日本社

振替東京 二六八六

家庭の常備品

僅か筆一本でどんな
シミでもとれるのは
此のしみぬきに限る
是非一瓶は備へられたし

東京瓦斯株式會社

各營業所にて販賣す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫の不品行と妻の不品行

高島米峯

（一）

婦人問題も、近來餘程進んで來て、もう、一般のもの好き者流……野次馬連……の口から離れて、眞面目な學者、專門家の手に移るやうになつて來たやうである。從つて、僕等のやうな一種の野次馬（但、僕自身は、眞面目なつもりである）は、もう退却すべき時機かとも思つて居る。然り、僕なんぞは、今までだつて、特に婦人問題に關して、研究なんどしたこともないし、又そういふ方面の本を讀んでも居ない。たゞ、時々に起つて來る事件に關して、僕の常識で、これに判斷を下すといふ位のことがあつたといふまでのことである。しかし、それでも、かく／＼の問題を、如何に思惟するかといふやうに、題まで出して意見を徵されると、ツイその時に思ひ浮んだことを、喋らずにも居れない。

（二）

「夫の不品行を苦にする妻のために」なンていふことが、婦人雜誌に、堂々と論ぜられて居る間は、日本の婦人問題も、前途頗る遼遠である。寧ろ「妻の不品行を苦にする夫のために」といふやうなことが男子の讀む雜誌の上で、盛に說かれるやうな時代が來なければ、……と言ひたいが、そうなつては、男たる僕なンぞは、甚だ迷惑だ。

全體、「夫の不品行を苦にする妻」といふことの中には、妻が夫に依賴して居る、妻が夫に扶養されて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

居る、妻は夫より弱いもの、妻は夫をして不品行たらしめる程微力なるものと、いふやうな、女に取つては、頗る不利な、あらゆる意義を含畜されて居ることに想到せねばならぬ。

それと同時に、又世には、心窃に、夫の不品行を喜びながら、表面わざと、夫の不品行を苦にして居るげに、言ひ裝つて居る妻もあるといふことを考へる必要もあるし、又更に進んでは、妻の不品行を苦にして居る夫もないではないといふことにも、考へ及ぼさなければならない。

（三）

全體、不品行といふことは、どういふことであらうか。まづ、酒を飲んで、年中酔つぱらつて居るといふのも、賭博や相場に夢中になつて、家庭のことなど、聊かも念頭に置かないといふのも、妻君以外の女に關係して、妻君の御機嫌ばかり取つて居ないといふことも、皆これ不品行といふべきであらう。

妻君以外の女といふにもいろ〱ある。藝妓や娼妓を、手當り次第におもちやにするのも、妾を圍つて置くのも、甚しきは、他人の妻と關係を結ぶといふのも、不品行といふ點から言へば、悉く同罪である。

妻が、自分の夫の、かくの如き不品行を苦にするといふのは、一體どういふ理由に依るのであるか。切實に、倫理的觀念から驅り催されて、これを苦にせざらむと欲するも得ずといふ程、崇高なる思想、純潔なる感情から、これを苦にするといふものか、或は又、生活上の危險に遭遇し、若くば遭遇すべきことを豫想しての上に苦にするのか、或は又、夫の愛情の、他に向つて傾倒せられることの妬ましさに堪え得ずして、これを苦にするといふものか、何れにもせよ、まづその、夫の不品行を苦にするといふ動機から、詮穿してかゝるのが順序ではあるまいか。

（四）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家に巨萬の富があつて、飲ンでも〳〵飲みきれないといふ程の境遇のものは、その夫が、縦令、二六時中、熟柿臭い息を吹つかけて居ても、さ程これを苦にしないといふのが、一般の妻たるものゝ考だとすることが出來るならば、夫の飲酒といふ不品行を苦にするといふのは、家計不如意――生活難の實際に處するの苦痛、若くば生活難を豫想することに依つて生ずるところの苦痛であつて、必ずしも、夫の不品行そのものを苦にするといふのではないとも言へる。

　夫の賭博や相場に耽ることを苦にするといふことは、萬一、刑法上の罪人となることを恐るゝか、失敗して財政上の危險に陷るかを恐るゝものであつて若し刑法上の罪人にもならず、とん〳〵拍子に當りがつゞいて、妻君をして、自働車にも乘せる、芝居も見せる、立派な著物も拵らてやる、時には、役者を買ふ位のことは、寛大に見逃してやるといふやうな、謂はゆる成金黨にでもなれば、賭博や相場といふやうな夫の不品行を苦にするどころか、寧ろ却つてこれを欣ぶやうな妻が多くはなからうか。

　夫が、妻君以外の女に關係して、妻君の御機嫌を取らないことを苦にするといふ女があるならば、それは卽ち舊い女である。今の謂はゆる新しい女、愛なき結婚は無意義であると主張する新しい女は、自分の夫が、若し自分以外の女を愛して、自分を愛して吳れない場合には、「これ卽ち愛なき結合である、無意義である」と稱して、離縁すべきではあるまいか。已に離縁す、舊夫の不品行が、何で自分の苦痛にならう。寧ろ自分は、一日も早く新しい男の愛を求めて、それと結合することを努むべきではないか。

　更に言ふならば、一體、男がその妻以外の女と、愛の結合をなすといふことは、まだ一般の女の考へが進んで居ないがための罪であつて、その罪は、寧ろ男に在るといふよりは、女に在ると言ひたいので

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある。天下の女、悉く、妻ある男に愛は捧げないといふ、斷乎たる確信があり、自分の夫、若くば自分の夫とすべき男以外の男は、斷じて愛すべきものでないといふ決心さへあるならば、男如何に、妻君以外の女と關係を結ばうと思つても、それは到底成立つ氣遣ひのない話である。然るに、男が妻君の上に妾の三人も圍ひ、その上に、更に藝者、娼妓、女優と、手當り次第にこれを弄するといふのは、當今流行の言葉で言へば、卽ち女が自覺して居ない罪である。夫の他の女と關係するといふ不品行を苦にする前に女自身が、自覺しなければならないのではないか。

（五）

貞操とか、貞烈とか言へば、古來女の獨占であつたと同じやうに、不品行と言へば、男の專賣で、女には不品行のものがないもの丶やうに思はれて居る焉ぞ知らむ、男にも貞男があるやうに、女にも不品行のものは少くない。

餘儀なくではあらうが、藝妓や娼妓や女優の不品行は、一體どうしたものだ。あれ程の不品行……女の生命ともいふべき操の切り賣り……を、本人も平氣で行ひ、世人も當然のやうに見逃して居る、世にこれ程の不都合はまたとあるまい。

それ程極端なのでなくとも、一家の主婦でありながら、育兒も家政も、亭主若くば雇人に任せて、自分勝手の道樂のために、時間と金錢とを浪費して、家政を紊亂するといふやうな妻君は、決して品行方正とは言はれまい。又、虛榮といふことも、不品行の一つである。少くとも、そのためには、大抵の夫が、非常に惱まされてしまふのである。夫の收入の或る部分は、妻の虛榮心の滿足のために消費される夫たるもの、この點に關しては、頗る妻の不品行を苦にせざるを得ない。

不品行な男が、妻君以外の女と關係を結ぶやうに不品行な女は、夫以外の男と關係を結ぶこともある

彼等の對手は、多く役者といふやうな男娼であるがその他の藝人にも、又は他人の夫にも、關係するのがないとは言へない。かゝる女、それが若し他人の妻君であれば、彼は寧ろその夫の不品行を歡び、夫が他に於て不品行を行つて居る時、自分も亦不品行を行ふのである。即ち夫の不品行を行ふ時が、即ち妻君の不品行を行ふ時であつて、從つて彼女は、夫の不品行を歡ばずには居られない。

（六）

夫の不品行を苦にする妻君に同情すべくば、妻君の不品行を苦にする夫にも同情すべきである。たゞ間々、夫の不品行を歡ぶ妻君あるが如く、妻の不品行は一向苦にもしないで、その度の強烈になつた時三行半をつきつけて仕舞ふといふ程、妻君に冷淡な夫が少くない。

そこで結論に入るが、世間の妻君たるもの、まづ自ら、夫の不品行を苦にするだけの資格ありや否やを顧みなければならない。資格なくして、たゞ徒にこれを苦にするは僭上なり、我儘なり、キットたしなんで然るべきことである。又、夫の不品行が、何に基因するかを想ふ時、一に、その妻君の微力なるがためなることを發見せずと言ひ得るものがあるか苟も、妻君自らの微力を感ずる時、何の顏あつてか、夫の不品行を苦にするといふが如き泣言を並ぶるの權利があらうや。

夫の不品行を苦になんぞして居る暇があらば、その間に、夫をして、その不品行を改めしむるだけの實力を養成して、徐々に夫を化せなければならないそれしきのことだに出來ない程の女が、男女同權も、女權擴張も、新しいも、醒るも、あつたものではない。と僕は思つて居る。これでは、天下の奥樣方の御氣には入らぬかも知れぬが、無暗に他人の奥樣方の御機嫌なんぞ取つて、僕の奥樣の御機嫌を損じては大變である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貴問に答ふ

山路愛山

拜啓仕候いつも御無沙汰のみ申上失禮之段御海恕被下べく候。

「夫の不品行を苦にせる御婦人方に」

婦人の權威を無視する程の不品行ならば離婚を求められ可然候。棄婦の苦痛が恐ろしく候はゞ辛棒肝腎に候。自身の腹がすわらば大抵は苦にならぬものと存候。但し夫に甘きはよろしからず候。妻は夫も憚る程の權威あり度ことに候。それには

第一、自ら反正して善妻たるを期すること

第二、夫の行儀に付ては用捨なく詮議なされ可然事（但し人の知らぬ所にてそつと）。

第三、夫をして我に賴らしむべきこと（女房は必要なりと感せしむること）。

夫が妻を侮るはけしからぬことに候。妻も夫に侮られぬだけの地歩は占めたきことに候。

「夫婦間の談話」

味噌醤油の俗話、閉口仕候。芝居の話などは罪なし。天下國家の話いさゝか氣違じみたり。夫の友人位は理會してもらひたし。

「婦人職業問題」

人の妻たるが大なる職業也。夫婦は同じ職業にてありたし。同じとは二個の同じものを並ぶるを云ふに非ず。夫婦協同して一個の業務を取ること也。それが成らねば妻は家を守るが善し。僕は此點に於て時世後れの考を有す、卑見大略陳述仕候拙荊も多分同案と存じ候乍末西川先生に山々よろしく御傳被下度候　敬具　（七月二十日九夕）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

負けたなあ

上司小剣

お手紙拜見。『夫の不品行を苦にせる御婦人方に』といふ問題は一般的に至極面白さうですが、併し私なぞから見れば、第一『不品行』といふことがハツキリと分り申さず、いづれ藝妓を買うとか、女優と親しくするとかいふことになるのでせうが、それならば別に『苦にする』には及ばぬことゝ思はれます。昔の女大學流に育て上げられた婦人は常に『家のことさへチヤンとやつてゐて呉れゝば、妾を置かうと何うしやうと、其處は男の甲斐性（これはカミガタ語です、手腕とでも譯しませうか）故、女は決して悋氣するものでない』と言つてゐたさうですが、これは實に男子の經濟力にブラ下つてゐる婦人の安全な生活法を敎へたものと思はれます。婦人が弱者である限り、人の妻になつて、夫に養つて貰つてゐる限り斯うでも言つてゐるより外はありますまい。それが厭やならば強くなつて男子を征服して了はねばなりません。『強い』と『弱い』『勝つ』『負ける』これより外に何もありません。『強くなつて勝つ』それが出來なければ、只平つくばつてお辭儀してゐるんですな。『不品行を苦にする』なぞは抑も末です。併しまだ世の中には勝利に悲哀があるやうに、敗北にも快感があります。強者たる男子に征服された婦人も、弱者を弱者のまゝに、敗北者を敗北者のまゝに、『負けたなア』と思つて、男子の足の下に踏み付けられながら、冷やかな眼で強者たり勝者たる男子を見上げて、ニコリと笑ふところに、生じツかの勝利に増

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した快感があるでせう。

尤も團體としては負けてゐても、個人的には婦人の勝つことも尠くはありますまい。それには美しく生れて來るのが第一です。美しい若い女の前には、如何に强い男子も爭つて拜跪します、美しく生れて來て若い中に死んで了へば、弱者、敗者、被征服者の苦勞をせずに濟みます。『夫の不品行を苦にする』には及ばないばかりか、妻(女)の一顰一笑に大の男が頭痛を病みます。併し美しく生れて來ると言つても、醜く、若しくば十人並みに生れた人は今から騒いでも追ッ付きませんから、前に言つたやうに冷やかな弱者の眼で、ニコリとして、嘲笑的に男子を見てやるのですね。それより外に仕方がない。今から戰爭の準備をするのでは、男子を征服することが氣の短いものにはまどろつこしい。

『夫婦間の談話』といふことは、私などにあつてはたゞ面倒臭いといふだけで、毎日碌でもない顏を見合はしてゐたのでは、話の種が疾くに切れてゐます。

『夫婦間の談話』と『夫の不品行を苦にせる御婦人方へ』と

小口みち子

文子樣先日はどうも途中で失禮をしました、あの時に須田町の人ごみの中で貴女にお逢ひしやうとはどうして私は思つて居りませう、偶然あすこでお逢ひしたのは神樣が一日に於て至る所でお示しになる一つの奇蹟を貴女と私の上にお示しになつた物、又かうした偶然の奇蹟によつて、一人の男と一人の女

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とがめぐり合つて相思相愛の中となつて、美しい夢を見續けにつゝけて行く、求めよさらば與へられんで求めずとも與へらるゝ事がかうしたお互ひの間にすらあるでは御座いませんか。御手紙の「夫婦間の談話」といふ項に就いては、私の夫は實にそれは無口な人で御座いまして、改まつた社杯をきたやうな談話を交換したこと等は殆んどないと申してよい程で、從つてそれにお答へいたす資格は全然私には御座いません、たゞ夫が結婚前の約束として、妻を奴隷の如く待遇する男の不法は絶對に自分は取らない事、相互の幸福のためにお互ひが協力一致して努力しやうと云ふやうなことは屢々私は聞されました、けれども私からは何一つ要求することはありませんでした、殆んど無條件の下に一人と一人と云ふ位置に立つて結婚をしたのでした。

今日に至る迄殆んど三年間にお互ひが結婚の危機だと思ふやうな機會に遭遇したことはそれは何度も〳〵ありましたが、二人とも協力して其中をいゝ鹽梅にくゞりぬけて來たのでした。

慾を申せば限りがありませんが、私は私の夫を得て初めて私の身は幸福になつたとそれは朝夕に有りがたいと思はぬ一日とてはありません。

私自身のことに付いては是位に止めまして、「夫の不品行を苦にせらるゝ御婦人」達には少しく私の意見として申上げたいことがあります。

一體に上中下を通じて今の女の思想には尚ほ奴隷のやうな根性が根深く蟠つて居りまして、「妾手掛は男の働き」と云ひ夫の外泊した時等にも愼しんで默つて居るのを貴い婦徳と考へて居ります。たまには早速夫の胸倉へ手をかけるやうな奇拔なのも在りますが、三越か白木屋か少し面倒でも天賞堂あたりで立派に解決がついて終つて、男の紙入の中に野分がさつと來てそれでもうお終ひになるのです。

誠に情ない話ですが少々の夫の不品行や又は自

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

分を馬鹿にする位は忍んでもよい、其代價としてお召の一反かダイヤの一つも買つて貰つて自分の虚榮心の滿足を得て居たいと云ふ種類の女がそれは實に數の多いことを考へて見て頂きたいのです。

「度し難い緣なき衆生」のこんな女がもし男であつたなら、自分の主君を敵に賣るやうなことをするのです、事實に於て自分の愚を敵なる男の前にさらげ出して、同性の女全體の顏に泥を塗つて居るのです。

建設者としては無能なる是等の女は破壞の方では實に恐ろしい力をもつて居ることは、まるで白蟻のやうな人間なのです。

男は憫れみながら愚弄します、私達は款を敵に通ずるやうな味方の卑怯者からまさに始末をせねばならないであらふと私は思ひます。

こんな鹽梅なので女を馬鹿にし切つて男は勝手な眞似をすることとなるのですが今一つ私等の最も注意をし又警戒しなければならぬことがあります。

それは是迄の女が餘り消極的であり鑄型にはめられて床の間の置物には都合がよくつても、少しも男のための遊び友達又は趣味の上の相談相手にはなることが出來ないと云ふ一事です。

卑しい階級の女達が、此男の弱點につけ入つて、それは實に秘術を盡して其歡心をかふことに勤めるのです。

嬉しがらせを澤山云つたり、思はせぶりをして見たり饑じい所につけ込んで、毒にならふとなるまいと好きな物をどん／＼たべさせるやうなことをするのです。

これでは家の中を如何に整頓して居ても立派な良妻賢母であつて見ても、自分の夫を通じて明かに非常なる侮蔑を受けて居ることとなるのです。

議論をするのも宜しい、又權利呼はりも結構ですが、それよりも手つ取り早く藝妓や遊女が限つて持つて居る一つの魔力を奪ひ返して來る事を考へ出

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さねばなりません。
男の心を固く〱自分の方へ惹きつけて置く強い〱力をもつた或物を持つて居なければならぬのです。其或物とは何であるかと云ふことに就いては折を見て論じて見たいと思つて居ります。

女を母婦と娼婦の二つに類別した「オットーワイニンゲル」の目は流石に高いとは思ひますが、私達は兩者の長所を併せもつた完全なる女として、完全なる男を道連れにして、人世の山越えをしなければなりません。

不品行なる夫を持てる御婦人方は、自分の無能のために親譲りの財産を無くなしたと同様で、お氣の毒なこととは思ひますが、何處かに缺陥があるからで、少くも夫に不品行をさせないだけの威厳を持つて頂きたい。

男が勝手な眞似ばかりするやうな社會の組織は一歩々々改善して行かねばならないのは勿論ですが、其社會の一員である自己を尊くすることが取りも直さず改善の一歩であることをお考へ願ひたいと思ひます。

只今和歌の投稿が屆きました、何れ近々にお目にかゝりたくたのしみに致して居ります。

『夫の不品行を苦にする婦人方のために』

内ケ崎作三郎

夫の不品行のみならず、一體人間の不品行は何故にわるいのであるか。妻が夫の不品行を苦にするためには自分の人生観を持たねばなりません。もしも日暮し主義や、あきらめ主義のそれならば、何も

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫の不品行を苦にする必要はない筈です。世間には物事を徹底的に考へずに、夫の不品行を苦にする婦人方は少くはありません。

先づ妻君自ら堅實なる信仰と人生觀とを抱くことが大切です。而して愛を以て夫を感化することです次に積極的に家庭の樂しみをふやすことです。

これでも駄目ならば、否それ以前よりも妻は夫の不品行の側杖を喰ふことを豫防せねばなりません。不品行の夫より病毒を授けらるゝ位馬鹿げたことはありません。妻といへども人類の一員です。夫が妻を我儘にすることは出來ません。妻たるものは自分と、人類と、子孫とに對してこの點大に爭はなければなりませぬ。夫の不品行のために共倒れとなる妻君達は犬死をする人々です。

次には夫の不品行がとてもなほらぬ時は、子供達を教育して夫の様な非人間にならず、否親まさりの男女と成長し發達する様全力を盡くすことです。夫は濟度し難しとしても、子供には希望があります。夫には失望しても子供には失望するに及びません。

あらゆる手段をつくしても駄目ならば、別居もしくは離縁も已むをえないことでせう。しかし此時には自立する丈の力量が入りますこれ丈の腕があれば大丈夫、然らざれば泣き寢入りとなりませう。これ女子教育ことに女子職業教育の肝要なる所以です。

家庭の不和

西川文子

一 不品行な夫の言分

能く不品行な夫は『家が面白くないから遊ぶのだ』と云ひ。不品行な男に同情する人々も『彼の男も家が面白ないから遊ぶのだらう』なぞと云ふのを

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

常として居るが、之れは少しも辯解にも辯護にもなつて居ないと思ひます。

家が面白くない責任は、妻にばかりあるものぢやないでしよう。少なくとも其の半分の責任は夫にもあるものでしよう。又少なくとも、面白くない家庭を面白くせねばならぬ義務の半分は、夫にもあらねばならぬワケです。其の責任をも思はず、義務をも考へずして、勝手に不品行をして歩き、『家が面白くないから』と云つて、ソレで辯解したツモリなのは餘りに蟲がよう過ぎるぢやありませんか。

若しも夫たる人に、少しでも、家を面白くしよう、妻を導いてやらうとの考があつて、毎日一度は必ず自己の心事とか、精神上のこととか、乃至は社會の問題などに就て語て御覧なさい。一月と立たぬ内に、家が面白くなる、一年とたゝぬ内に、妻君がドレ丈け悧巧になるか知れぬ。然かるに不品行な夫に限り妻に碌々口さへきかぬ、妻から話しかけても耳には入れない、たゞ時々妻君に對して命令を發するのみである。妻に對して曾て其の心事を談らざるのみか、甚だしきは其の出先、其の事業のことさへも談らぬので、妻は夫の爲人を知らず、又夫は何にをして居るのかも知らぬ、丸で暗室に獨りで坐て居る樣な氣で居る。之れでは妻君の心が暗く／＼なつて、家庭が何んとなく陰氣になるのが自然でしよう。ソレを考へないで、面白くないから遊ぶなぞと放言して憚らぬとは、隨分と我儘な振舞です。

例へば内が面白くないと云つて、内では澁い顔なして居る男子でも、放蕩する場合には、浮かれて愉快に遊んでます。甚しきは藝者などの歡心を買ふ事に努める事さへ珍らしくありません。妻君にだつてソレ位にして御覧なさい、ドンナ陰氣な奥樣でも、キット變つて參ります。

二　夫婦間の談話

何んと云ふても夫婦間の談話は、夫婦間の生命である。されば夫は能く妻に談り、妻は又能く夫に談

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らねばならぬ。又互に聞き上手とならねばならぬ。世には夫が五月蠅がりて妻に口をきくことの少ないので、寂しがつて居る婦人が多いが、又隨分妻が夫の談話に興味を持たぬので、家庭が日に〳〵面白くなくなつて行くのも多い。私は先日或本で、左の如き小話を拜見しました、ソレを紹介しましよう。

秋田五郎は高等學校時代に、天才として知られたが、大學へ這入る學資がないので、高等學校卒業後、職業を求めねばならことゝなつた。所で思はしい職業がない、ソコで五郎は何んとかして金持の娘と結婚し、ソコに學資の出所を見付けて、學問の研究を續けようと決心した。

五郎は其の目的で、身分以上のなりをして交際社會へ這入り込み、貴婦人達の氣に入る樣に肝膽を碎いた。其の苦心空しからず五郎のもてるとと云へば夥しい、彼れ自身は勿論、友人達も彼の成功近くにあるべしと信じて疑はなんだ。

所が一日五郎は、一錢蒸汽に乘つて、隅田川を上りし際、船中でフト一人の女を見た。女は貧乏人の娘らしかつたが、妙に五郎の心を動かした。彼は此の女に全く魅せられて了つて數年の計畫を放擲して遂に此の女と結婚することゝはなつた。友人は皆、戀は恐ろしいものであると驚いた。

五郎は此の女に魅せられて結婚をしたが、元來貧乏人の娘で無學であるから、哲學や藝術のことの話をしても、薩張り解せぬ、話に少しも興が湧かぬ。然かる所から、月日の立つに從ひ、夫婦の間が冷淡になつて來た。

のみならず、ダン〳〵家庭の費用がかさみて五郎は職業に追はれ、トテも勉強の時間を見付けることが出來ない。で五郎は家庭に對して少なからず不平を懷く樣になつて來た。

けれども、コウ云ふ家庭の空氣の中にても、妻君が姙娠して玉の樣な子供が生れた。さて子供の生

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れたことから、話の中心が子供となり、子供に就ての話とならば、妻君も却々話せるので、夫婦間の談話に興味が湧き茲に再び夫婦の間に愛情が復活した。云々

此の話の通りであるから、妻にとりては、夫の談話を了解し又夫の談話に興味を持ち得る樣努むることが、何によりも大切な修養である。

又旅行の際など、夫にしても、妻にしても其の旅先より成るべく濃厚な手紙を、其の留守宅へ發するがよろしい。ソレがドレ丈け夫婦の愛情を清新、活潑ならしむる上に、力があるか知れぬ。之れに就ても近頃見聞した一小話があるから、左に紹介しましよう。

郵便局に務むる或女と、中學校の教師とが結婚した。結婚して二年目に赤ン坊か生れた、赤ン坊が生れてからと云ふ者は妻君は愈々多忙になつて、夫が話かけても、トツくり聞く暇さへないことゝはなつた。ソコで夫は不愉快になつて、夫婦の愛情が次第に冷却することゝなつた。若しコウ云ふ狀態が此の儘一年も續いたならば、二人はキツト夫婦分れをすることになつたであらう。然かるに幸なるかな此の時夫は中學校を止めればならぬことになつて、新聞社に奉職し、社用でチヨイ〳〵地方へ旅行し、家を留守にすることゝはなつた。此の變化が多少夫婦の關係に好影響を與へたのみならず、夫は旅行中、一日、温情あふるゝ手紙を書いて妻君に與へた。妻君から直樣、温情と感謝の情に滿ちた返事が來た。ソレから兩人は切りに手紙の交換をしたが交換をすればする程、其の手紙がラブレターの樣になつて、兩人とも氣が若やいだ。斯くて兩人は、又も結婚當時の樣な夫婦とはなつた。

手紙を書くのに不精な夫も妻も、此の一小話から學ぶ所があらねばならぬと思ひます。

三　積極的心持

途中の困難よりも、恐るべきは、行かねばならぬが面倒くさいなあと云ふて、家で考て居る心持である。事業の上に於ても、恐るべきは事業經營上の困難でなくて、事業をしようとの精神が弱つて行くことである。ソレと同じく家庭の事に就ても、何によ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りも恐るべきは、家庭を改善しようとの精神なきことであります。妻にでも、夫にでも、家庭を改善しようとの積極的の心持があれば、(兩方にあれば無論結構)、假りに一方がドンナに頑夫、若しくば惡婦であるとしても、遂には其の家庭が必らず樂しくなるに相違ない。少なくとも其の積極的の心持のものは、決して失望しませぬ。

私は先日、立派な物持の隱居らしい老人が溝をかき廻してアカコをとつて居るのを見ました。而して思ひました、若しも此の老人に錦魚の爲めに餌をとつてやるのだとの心持がなかつたならば、老人の目に溝が隨分汚いことでしよう、又其の鼻に溝は頗ぶる臭いことでしよう。けれども目的があるから、汚なくも臭くもない。ソレと同じく、何事をする際にも自分の心に立派な目的、理想があれば、何でも忍べる、イヤ忍ぶのではない、何でも面白く感じで爲すことが出來る。であるからドチラか一方に此の積極的の心持があれば家庭の不和位は、何んの苦もなく取り去ることが出來ようと思ひます。

編輯局より

■目次の上下のカット、渡邊文子樣に書いて頂き、大層立派な出來でしたが、ツイすめられて腐蝕版にして見ました所、木版よりは出來が惡く、折角の畫を臺なしにして了ひました。渡邊樣に對し、誠に相濟みません。

■八月は、研究會も休會しましたが、本月は研究會を開會し、婦人雄辯會の方も是非開會したいと思ふて居ります。

■本號附錄にはモツト澤山に、諸名家の御意見を集めるツモリでしたが、暑中休暇で留守の方が多く思ふ樣に參りませなんだ。

■私共の家では、今年は夏の晝寢と云ふ事を廢し正反對に、暑い最中外を歩き廻はることにしました、所が案の如く其の方が精神の爲めにも、身體の爲めにも宜しう御坐いました。來年の夏は皆樣も、ソウして見て下さい。(文子)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

投稿募集（毎月十日〆切）

婦人問題に關する報道、論議、其の外感想文、詩的散文の投書を歡迎す續々御投稿をお願ひします。

■和歌（一人五首以內）　小口みち子選

■俳句（一人五句以內）　夏山茂子選

賞　△和歌、俳句一等五十錢、二等三十錢、三等本誌二册

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一册	（郵税五厘）	拾錢
半年分	（郵税共前金）	六拾錢
一年分	（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意　●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず『盡』の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正貳年八月廿八日印刷納本
大正貳年九月一日發行

發行兼編輯人及印刷人　本鄉區駒込林町二〇〇　西川文子

印刷所　本所區香場町四　凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄉區駒込林町二百番地　新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京二四五五六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我國に初て出來た婦人の大寶典

新刊大歡迎

忽ち三版出來

賢良にして健室なる生兒を擧げる母としての注意！良妻賢母となる第一の資格を修養せんとなさる婦人は本書を熟讀なさい！

東京女子高師教授 文學士 下田次郎先生新著

胎教

▲教育といへば、多くの人は幼稚園から始まると考へて居る。よく注意して居る人でも、生れてから後に始まると考へて居る。けれども生兒の強弱賢愚は、母の胎内に居る中の教育によつて別れることを考へる人は少ない。

▲本書は母體を通じて如何に胎兒を教育すべきかを説いたもので、これ迄此種の著書の缺乏して居た我國に第一最初の良書で、人の妻たる人は勿論、母たるべき天職ある婦人は必ず、一本を備へて熟讀すべき寶典です。（製本は頗る優雅で書齋の飾りとなる美しい本です）

定價 五十五錢 郵稅六錢

全國各書店にて販賣す

△名取春仙先生裝幀▽

△中版函入頗る美本▽

發行所

東京市京橋區南紺屋町一二

實業之日本社

振替貯金口座東京三二六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顔の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尙ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區
竹川町一二

理容館

電話新橋一五一九
振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

習字奬勵會發行
太陽印水書草紙
太陽印水書教授用黑板

褒　狀

右制規ノ審査ヲ歴テ之ヲ授與ス

東京府知事正四位勳三等
宗像政　印

二前第一六二一號

證　明

太陽印水書草紙
習字奬勵會製造

本品ハ價格低廉ニシテ耐久力ニ富ミ習字練習用トシテ頁好ナルモノト認ム

大正二年五月三日
東京市役所　印

名譽ある水書草紙

（草紙一册六錢教授用黑板形五十錢）

各府縣郡に特約販賣店特約製造者募集

右希望者ハ切手四錢封入申込ルベシ

東京市銀座南紺屋町貳拾番地
習字奬勵會
振替口座二三一三八番

定期預金　六ヶ月以上　六分

當座預金　百圓ニ付日歩　九厘

特別當座預金　百圓ニ付日歩　壹錢貳厘

東京市日本橋區坂本町七番地

合資會社 **田中銀行**

電話浪花　壹九九番　貳四〇番

腦病精神病專門

東京田端

東京腦病院

電話下谷二二〇二番

院長　後藤省吾

醫學士　黒澤良臣

腦病精神病專門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

電話番町（長三〇九八）

入院随意

院長　醫學博士　石川貞吉

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目河岸通（電話京橋八一五・八一六）

飯倉支店　飯倉三丁目

赤坂支店　赤坂表町

四谷支店　四谷大通り

本郷支店　本郷一丁目角

神樂坂支店　牛込神樂坂上

吾妻橋支店　淺草花川戸

須田町支店　神田須田町

米澤町支店　兩國米澤町

品川支店　南品川一丁目

横濱支店　横濱吉田町

代理店日本橋坂本町田中銀行

●一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候●毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

日清生命保險株式會社

東京丸の内

●二重の利益……配當附養老保險は生存分配金付保險にして株主に優先して會社の利益を分配す

●低廉の保險……特種養老保險は配當なき代りに保險料は最低廉なり

●利益の配當……大正元年度に於て保險契約者に保險料百圓に付金三圓強の配當あり

社長　中野武營

専務取締役　池田龍一

石田幽南先生新著

四六判洋裝箱入全一冊　正價八十錢　小包送料金八錢

最新刊

やきもちろん 嫉妬論

シットロン

藝者論出で御客論出で愈よ嫉妬論出づ本書は先づ嫉妬と悋愾の差あるを明かにし進むで男女間は勿論父子兄弟政治宗敎實業上等に起る嫉妬と悋愾を觀察し更に國際嫉妬なる先人未發の見を公にし一轉して又嫉妬技術論なる一章を設け世の淑女に妬嫉の方法を敎ふ而も文章平易記事は悉く古今東西の事實を引證論斷せる等眞に破天荒の快著……銷夏絶好の讀物

醫學士 大友道之監修
産婆 指田たね子編

妊娠十ヶ月

最新刊 和綴極美全一冊 新案姙婦解剖模型圖挿入
正價金六拾五錢 送料八錢

女は姙娠すべきもの、御産は御婦人方の最も重大なる御役目です
本書は姙娠不姙の理由より姙娠中一般の心得と十ヶ月間母體の變化胎兒生育の狀態、良人の守るべき事項等月々に分ち尙産後の注意病氣の手當迄詳細に述べある故本書に依て姙娠中に氣爵秘密の御心配も直ちに判明し安心して御産が出來ます

發行　東京日本橋檜物町　振替東京二三〇番　**弘學館**　大阪市 金正堂

産科婦人科小兒科

鷲山改め 女醫 吉岡彌生

院長診察　宅診午前　往診午後

醫員診察　午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

親孝行器

魚鳥獸骨肉類野菜穀類を粗細隨意粉碎す

今般現品廣告販賣として大割引特減金壹圓

料理法一冊相添送料又ハ配達料トモ四拾錢を以て巡回販賣爲致候間多少トモ御用命奉願候也頓首

追テ本器排出口輪車及物等鋼ニ非ザレバ不可然ニ鑄物輪車ヲ用イ粗惡ナル揑造物ヲ販賣ナス輩有之趣豫テ送附仕置候印鑑符御照會之上御用命奉願候也

東京市淺草區諏訪町
駒形電停前
布施商會
長距離電話下谷六〇五八番
振替東京二四九五五番

處世 淘宮術傳習錄 活用

通信教授創始

▲初傳四號 八月十五日發行 一號二號再版

淘宮を修行すれば我が氣質より招く病氣災難を免れ心身を强健にし不和の家庭も圓滿となり人と爭論する憂なく胸中常に綽々として煩悶悲觀せず運氣開け幸運と爲り身を立て家を興すを得べし、古來名家富豪は之を研究して成功せし者寡からず然れども斯術は神秘口傳と唱へ正式に入門せざれば一切傳授せず其傳書も長年月を經ざれば容易に交付することなし、今日競爭場裏に立ち活動に暇なき人身分貴き人御婦人方等には淘宮の席に出て難き方々多く深く效驗を信ずるも進んで修行の出來ざる事情あるを遺憾とし革新淘宮術會長竹内先生に請ひ通信教授の方法に據り十二宮講義及淘詠集講解三輪問答講話及相法淘書雜纂の各料に分ち滿一年を以て平易懇切に初傳中免の全部を教授し完全に斯道の奧義を獨修せしむ○會員には質問に應す○會員外頒布せず○入會金卅錢會費一ヶ月卅五錢三ヶ月前金壹圓以上尙割引有り○會則及見本入用者は往復葉書にて申込次第呈す

東京神田錦町二ノ三(振替一二九九四)
發行所 **永樂堂**

肉體色白新劑

本劑は近時佛國パリス貴紳淑女間に最新流行の發明劑にして生來色黑き男女にても平素之を用ゆれば本劑の主成分たる皮膚漂白性作用により漸次肉體白色となり肌を滑にし皺を伸しあれ及吹出物を治し艶美の容貌となる卓効を有す世上種々雜多の色白藥を用ひて奏効なき人は速に本劑特製分貳劑を試よ偉大なる奇効完全に顯る價並製壹劑壹圓廿錢特別製壹劑貳圓貳拾錢

色白飲藥

英國輸入の全身清血劑にして飲んで體内の悪血毒血惡液を體外に排泄し血液を清淨にし完全に肉色を白色艶美ならしむる奇効顯著藥なり價壹劑貳圓九拾錢參劑七圓九拾錢五劑拾貳圓五拾錢色白新劑と内外双方併用せば偉大の奏効迅速に顯る着金即刻送藥す

腋臭治劑

本劑は腋臭症に對し最近の學理と實驗とにより研究發見せられたる斯病唯一の理想的卓効新藥にて本劑の作用により其病原汗腺を根底より變質せしむるを以て如何なる難症腋臭も完全に治癒す故に他藥にて全治せざる患者は早く試み病原を去り苦悩を脱せよ難重症は特別製を用ゆれば完全著効を奏す藥價輕症用壹圓八拾錢重症用貳圓八拾錢慢性症用五圓八拾錢頑固症用特別製分拾圓八拾錢着金小包密送す

最新發見奇藥

陰萎病

特効新藥

本劑（藥名トニチン）は最近發見に係る陰萎病唯一の特効新劑にして其主治適應症を擧れば種々の原因より來る

陰萎病

精神性陰萎。貧血性陰萎。衰弱性陰萎。根氣衰弱。神經衰弱症。早漏。萎縮。元氣衰弱。腎虚冷症等に卓越絶倫なる奇効あり荷も精力を旺盛にし生殖機能強健ならしめ人生の快樂を保全せんと欲する人は早く試よ的確偉大なる特効顯著なり藥價試用分壹劑貳圓輕症用五劑九圓五拾錢重症用八劑拾四圓五拾錢慢性症用拾參劑貳拾參圓也着金即刻小包密送す

月やく通經劑

本劑は胃腸を害せず子宮を痛めず月經とまりを迅速に**通經**す長き滯り及び血塊には特製分を用ひよ極安全に快通**流經**す且つ月經不順より起る子宮病血の道を治癒し惡血古血を一掃す患者は早く試み卓絶偉大なる**特効**を知られよ近時無効類似偽藥多し御注意を乞ふ價は壹劑七拾錢貳劑壹圓廿錢參劑壹圓七拾錢特別製分貳圓卅錢頑固症用特製分四圓卅錢郵券代用貳割増し

婦人病の福音

本劑は最新の學理と多年の實驗とにより發見せられたる婦人病藥唯一の靈劑なるを以て頑固なる月經閉止及血塊抔と稱へ永年經水なきを快通流下するは勿論月經不調に基因して續發する逆上頭痛眩暈腰或は子宮に痛ある人腹子宮部の癥攣等に用ひ偉大なる卓効顯著なり早く試よ

（奇効顯著藥）

毛生へ新藥

本劑（藥名ヘアークロース）は多年研究實驗の結果發見したる**毛髮發生藥**なり即ち男女共禿頭病の人各種の病氣にて脱毛する人頭髮及はゑぎわの薄き人まゆげ口ひげの薄き人其他總て毛のあるべき所に毛なき人用ゆれば毛髮蒼々と**發生**する**特効**あり本劑は世にありふれたる種々雜多の毛はへ藥とは其効大に異なるに付幸に玉瓦混同視することなく速に試み偉大なる奇効を知られよ價小瓶壹圓廿錢中瓶二圓卅錢大瓶五圓卅錢特別製分拾圓卅錢着金即刻送藥す郵券代用必ず二割増しの事

やせる藥

壹劑參圓卅錢貳劑六圓二十錢特別製九圓拾錢

本劑（藥名ヨードチリン錠）は學理實驗に徴したる唯一の**瘦身劑**にて血ぶとり。酒ぶとり。あぶらぶとり。顔赤くほてり。のぼせ症。卒中症等總て肥滿質多血質脂肪過多質の人用ゆれば無害にして著しく體量を減じ脂肪を適度に脱し**美容健康**を保ち程よくやせる特効藥なり故に彼の見苦しくふとりたる諸君は速に本劑を用ひ其偉大なる卓効を知られよ

以上七藥專賣

東京市神田區五軒町十九番地

日新館藥房

電話下谷五百四十六番
振替東京一九二四六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花柳病豫防液

ゼニール

專賣特許

「ゼニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を裝置する安全注入器は携帶に便利小形堅牢なる特許品にして秘密使用に好適す。花柳病の恐るべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは是ゼニール。説明書往復はがきで申込あれば進呈す

定價

特製（器械 藥液）	一組	二圓
甲種（器械 藥液）	一組	壹圓五十錢
乙種（器械 藥液）	一組	七拾五錢
藥液ゼニールのみ	一瓶	廿五錢
送料	各	八錢

發賣元 精錡水本舗 岸田吟香

東京銀座二 電京六一五番
振替東京四七八七番

花柳病の恐る可き事は今更言ふまでもなき事なれど之にかゝらぬ人は殆ど皆無なるは隱れなき現代の狀態にあらざるかされば轉ばぬ前の杖なり苟も豫防の方法あらば出來得る限りの方法を盡さゝれば悔ゆとも及ばざるべし本品の如きは實に轉ばぬ前の杖なり世の紳士青年諸君決して僅の金を惜みて忌むべき病にかゝり玉ふな殊に旅行でもなさるときは必ずかばんの中に一組の用意を乞ふ之を買求る手數を面倒がり又は「きまりわるがる」様の事なく弊店若くは最寄取次店へドシ／＼御注文の程歡迎致します

常備せよ　ホシ小兒專門藥

人の親たる者何人も此廣告を熟讀せよ

■賣藥改良の魁は星製藥株式會社なり、ホシのクスリは能く効く、ホシのクスリは安心して賣ることが出來る、クスリはホシに限るとの公評を博せり

■小兒專門藥の必要なるとは政府も民間も其必要を感せし處今般當社は率先左記六種の小兒專門藥を發賣す

ホシ小兒下痢止　**ホシ小兒下劑**　**ホシ小兒胃腸藥**

ホシ小兒祛痰藥　**ホシ小兒風藥**　**ホシ小兒虫藥**

美壜入各定價十錢、六種一組箱入六十錢

說明書、病原療法、藥用法其他注意事項を記したる簡明の小兒醫書を添附せり

■政府の報告を見よ、小兒は一番病氣にかゝり易い、又死亡率も一番多い、是迄完全なる小兒專門藥のなきは何人も遺憾とする所なり、當社の此擧世人の賞賛を受くる偶然にあらず、世の親達よ明日と云はず本日直に之を求めて不時の用意に供せよ、子を有する友人親戚に此の藥の發賣を知らしめ、ホシ小兒藥に依り子供の健全を計れ

▲各特約店及び有名なる東京の藥店にあり

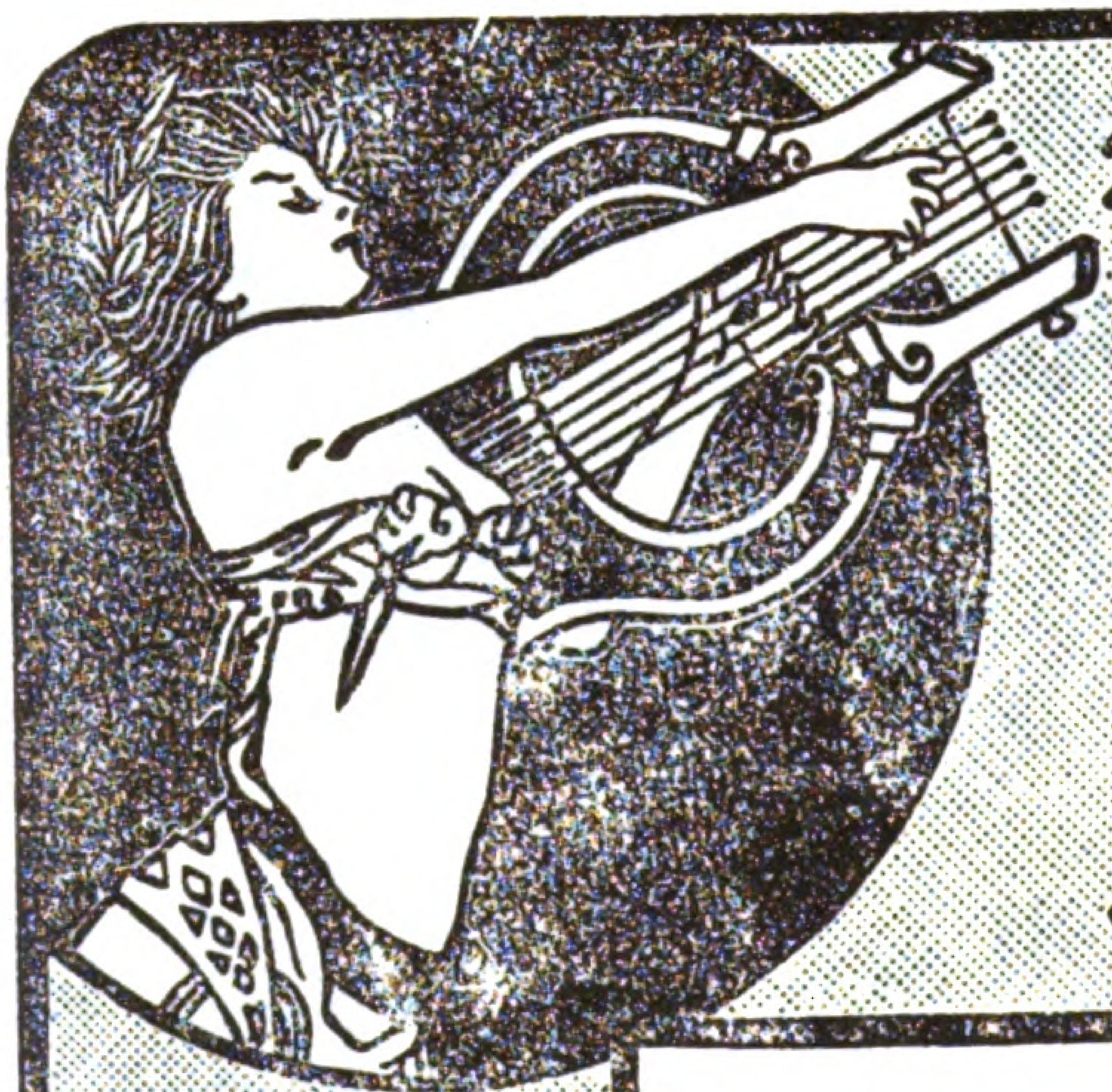
東京麹町區有樂町三丁目
（改築中假事務所）

星製藥株式會社

電話新橋二二三三番、四九七番　振替東京二〇五二二番

■當會社は岩下淸周、片岡直温、松方幸次郎、荒井泰治、岩原謙三、山本條太郎、岩井重太郎、馬越恭平、小池國三、藤山雷太、岸敬二郎、野田卯太郎、岡本貞烋、桂光風君等日本第一流の實業家に依りて組織せらるゝ大會社にして此他三十四方の改良賣藥及び星化粧石鹼、星浮石鹼、星齒磨を發賣す、當社の信威と責任ある製劑とは世既に定評ありいづれも安神して御愛用を希ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

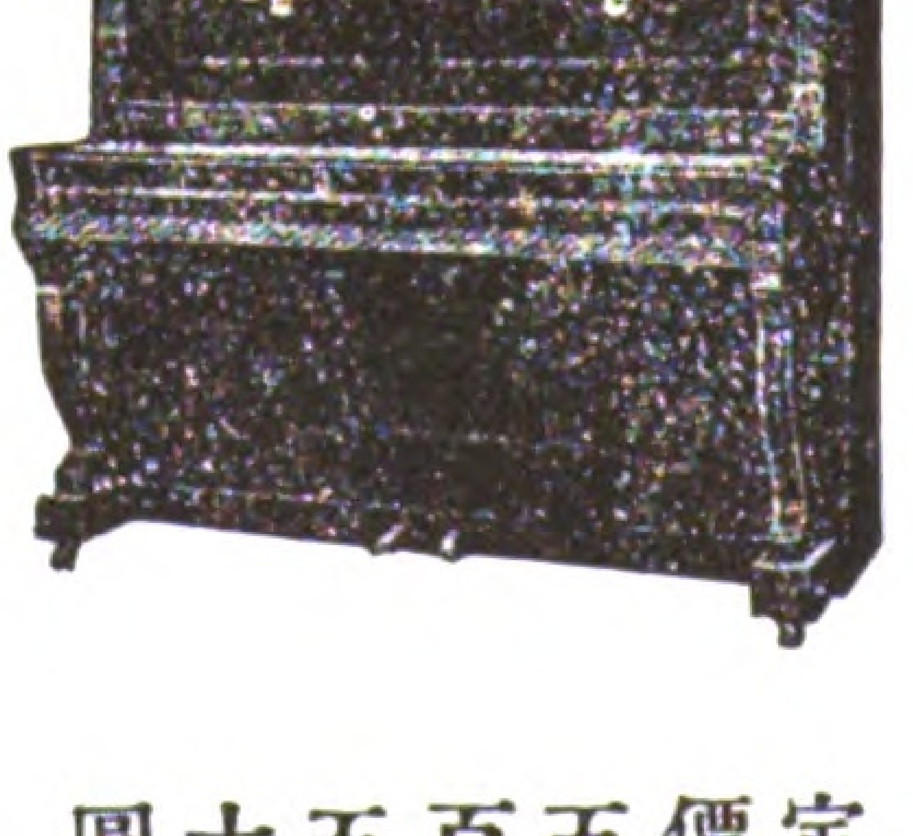


内外松本内外内外
ピアノ オルガン ヴァ井オリン 蓄音器其他

六百萬圓の獨乙ピアノ

獨乙は、世界中ピアノ製造の最も熾んなる國であります、其獨乙の中で最も盛んにピアノを製造する處は、ホーマアイヤ、ピアノ製造所であります、同製造所が昨年造つたピアノの數は一萬二千臺でこの價格が六百萬圓で世界でこれ以上澤山ピアノを作る製造所はないのです、これは頃日來朝した獨乙ピアノ販路擴張委員の證明であります。

品質の善惡は音樂學校教授ベッツフォード夫人に御聞きになれば分ります、値段は舶來ピアノ中最も廉いピアノです。（目錄進呈）

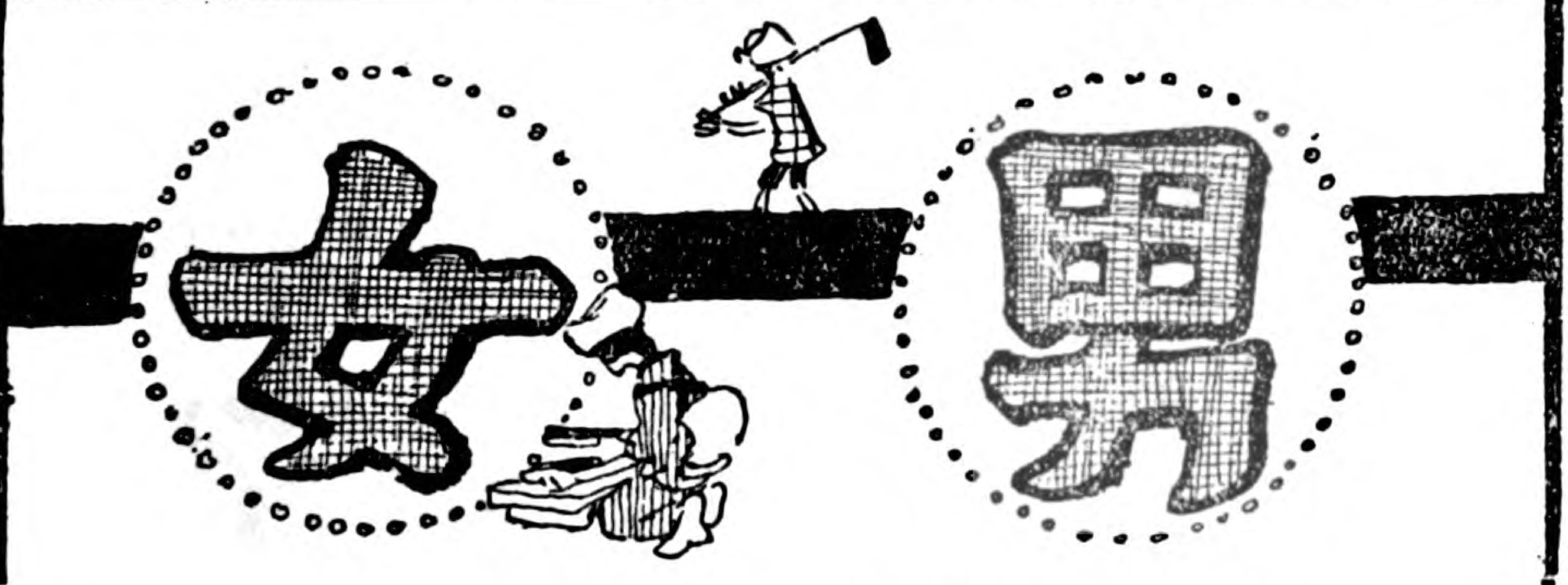


定價五百五十圓

東京銀座四丁目
松本樂器合資會社
電話京橋二二九八

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



男といふ字

は田力と書く、田を耕す許りが本業でないが、總て家を外に働くが、男の役目

女といふ字

は襷に象る、家を内に襷かけて、マメマメしく内政を整理するのが、女の役目

男の側は姑く措いて若も女が襷がけの仕事が出來ぬなら

女の役目は何勤まろう、妻たる價値は何處に在らう、されば、身體弱い御婦人は無病息災の身體となつて、襷がけ裾からげの働きの出來るやう

婦人良藥

を召上れ

中將湯は子宮血の道より起る左の諸症を治す

●內膜炎 ●血の道
●下腹痛み ●夜眠れず
●難産流産 ●つはり
●氣ふさぎ ●月經不順
●産前産後 ●胸先差込
●腰足冷込 ●白帶赤帶
●こしけ ●癇高ぶり
●月經滯り ●逆上頭痛
●月經痛み ●血ぶとり

定價

四日分	三拾五錢
一週間分	六拾錢
二週間分	壹圓拾錢
三週間分	壹圓六拾錢
五週間分	二圓五拾錢
十週間分	四圓五十錢

本舖

東京市日本橋通四丁目
津村順天堂本店
振替口座六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町
津村順天堂支店
振替口座四五六番

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正二年八月二十八日印刷納本 大正二年九月一日發行（毎月一回一日發行）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA